

令和7年度
事業報告

社会福祉法人祥風会
理事長 羽鳥 圭一

<目次>

白色

サポートセンター P 1 ~ 4

青色

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業
P 5

ピンク色

特別養護老人ホーム飛羽ノ園 P 6 ~ 14
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ P 15 ~ 17
飛羽ノ園デイサービスセンター P 18 ~ 21
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所 P 22 ~ 23
土浦市在宅介護支援センター飛羽ノ園 P 24 ~ 25

緑色

特別養護老人ホーム憩いの里 P 26 ~ 35
デイサービス憩いの里 P 36 ~ 39
支援センター憩いの里 P 40
土浦市在宅介護支援センター憩いの里 P 41

黄色

桜川保育園 P 42 ~ 47

紫色

千鳥ヶ丘保育園 P 48 ~ 53

令和7年度

事業報告

社会福祉法人 祥風会

サポートセンター

理事長 羽鳥 圭一

次長 松本 明日美

〒300-0823 土浦市小松1-3-3-33ハトリビル6階

T E L 029-896-3520

F A X 029-896-3522

U R L <https://showfukai.com>

E-Ma i l i n f o @ s h o w f u k a i . c o m

サポートセンター

1. 法人事業活動状況

本年度は、法人経営理念に基づいた実践を施設全体で推進しました。

① 「心地よい風の吹く場」の提供

介護施設では、入居者や利用者が心穏やかに過ごせる空間づくりを重視し、感染症対策の徹底や自然災害を想定したBCP訓練の実施を通じて、安心・安全な日常を提供した。保育園においても、園児が初めて社会と関わる場として、遊びや生活を通じて他者との関わりを大切にする保育を行い、安心と楽しさを感じられる環境整備を行った。

② 「質の高いサービスの提供」

全職員に対し、OJTやマニュアルの整備を通じて技術と知識の向上を図り、サービスの質の維持・向上に努めた。

③ 「地域社会への貢献」

地域の高齢者や子育て世代にとって、相談しやすく、頼れる存在としての施設運営を意識し、地域行事への参加や施設見学、保育・介護に関する相談会の開催を実施した。

④ 「職員への適正な待遇」

職員の貢献を正當に評価する仕組みを継続し、処遇改善加算の適正な活用、勤務評価制度の運用などを通じて、働き続けたいと思える職場づくりを進めた。

2. 重点目標に対する成果

【法人理念の浸透と実行】

法人理念の理解促進を目的とし、会議等で理念の再確認・共有を行った。理念に基づいた日常の行動・指導の質向上が見られた。

【感染症・災害への対応強化】

感染症対策においては、各施設での定期的な訓練を実施した。また、整備した業務継続計画（BCP）を基に有事の際にも安定したサービス提供ができる体制の基盤構築を図った。

【入居待機者の確保に向けた取り組み】

SNSの活用を推進し、祥風会での入居の様子をより分かっていただけの体制を構築し、稼働率の増加に尽力した。

【中間管理職層の基準の明確化と育成強化】

模範的な非常勤職員（パートリーダー）の配置による現場支援体制の強化を行い、組織全体のスキルと意識の底上げに繋げた。また、チャレンジ制度を積極的に活用し、人材育成に繋げました。

【経営感覚の浸透と業務効率化の推進】

全体研修・部門別会議において、収益性とコスト意識を併せ持つ経営感覚の醸成を図った。さらに、施設間での事務業務統一化を進め、業務の標準化と効率化に一定の進展がありました。

【採用活動の見直し、強化】

人材紹介会社依存からの脱却を目指し、自主採用の強化に取り組んだ。働きやすい環境づくりや、処遇改善、職員の声の反映を行い、法人としての魅力向上に努めた。SMS発信による情報提供も継続して実施した。

【新規入職職員への指導体制の整備とフォロー体制の構築】

新入職員への丁寧なフォローアップに努め、離職防止と早期定着に一定の効果が見られた。

【働き方改革関連法や福利厚生整備】

法改正への迅速な対応を行い、職員が柔軟な働き方を選択できるよう勤務体制を見直した。

3. 事業内容

* 祥風会設立認可・・・平成元年6月26日

* 創立登記・・・平成元年6月27日

* 理事長 羽鳥圭一 就任年月日・・・平成21年8月10日

* 土浦市小松1-3-33ハトリビル6階（平成24年12月に移転）

* 介護職員初任者研修事業開始年月日（平成26年4月1日）平成26年2月14日指定（指定番号45）

* 実務者研修事業開始年月日（平成30年6月1日）

事業所名		所在地	事業開始年月日	指定日・認可日	事業所番号
飛羽ノ園	特別養護老人ホーム飛羽ノ園	茨城県土浦市 小松 3-18-18	平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300241
	特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ		平成24年4月1日	平成24年4月1日	0890300106
	短期入所生活介護支援事業所		平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300241
	飛羽ノ園デイサービスセンター		平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300431
	土浦市在宅介護支援センター		平成6年8月17日		
	飛羽ノ園居宅介護支援事業所		平成11年11月30日	平成11年11月30日	0870300175
憩いの里	特別養護老人ホーム憩いの里	茨城県土浦市 高岡2315	平成17年9月25日 平成26年4月1日 (増床20床)	平成17年9月25日	0873900765
	短期入所生活介護支援事業所		平成17年9月25日	平成17年9月25日	0873900765
	デイサービス憩いの里		平成17年9月25日	平成17年9月25日	0873900740
	土浦市在宅介護支援センター		平成19年4月1日		
	支援センター憩いの里		平成17年9月25日	平成17年9月25日	0873900757
桜川	桜川保育園	茨城県土浦市 田中3-4-5	令和2年4月1日	令和2年3月31日	0820306100018
千鳥ヶ丘	千鳥ヶ丘保育園	茨城県土浦市 千鳥ヶ丘町 10-25	令和7年4月1日	令和7年3月31日	0820306100059

4. 理事会・評議員会開催状況

【理事会】

第1回理事会（決算理事会）	令和7年5月22日（木）	出席者：理事6名 監事2名
第1号議案	令和6年度事業報告及び決算報告の承認について	
第2号議案	評議員選任・解任委員の選任について	
第3号議案	第三者委員の選任について	
第4号議案	評議員会への提案について	
第2回理事会	令和7年6月6日（木）	出席者：理事6名 監事2名
第1号議案	理事長の選任について	
第3回理事会	令和7年10月23日（木）	出席者：理事6名 監事1名
第1号議案	就業規則の変更について	
第2号議案	千鳥ヶ丘保育園新園舎建築にあたっての購入物品、業者指名について（案）	
第4回理事会	令和7年11月14日（金）	出席者：理事6名 監事2名
第1号議案	千鳥ヶ丘保育園新築に係る備品・遊具の物品売買契約書（案）について	
第5回理事会	令和8年2月19日（木）	出席者：理事5名 監事1名
第1号議案	定款変更について	
第2号議案	千鳥ヶ丘保育園の住所変更について	
第3号議案	基本財産担保提供承認申請について	
第4号議案	支援センター憩いの里の休止について	
第5号議案	経理規程の変更について	
第6号議案	補正予算（案）について	
第7号議案	令和8年度 事業計画（案）について	
第8号議案	令和8年度 資金収支予算（案）について	
第9号議案	評議員会への提案について	

【評議員会】

第1回評議員会（定時評議員会）	令和7年6月6日（木）	出席者：評議員5名
第1号議案	令和6年度事業報告及び決算報告の承認について	
第2号議案	理事及び監事の選任について	
第2回評議員会	令和8年2月27日（金）	出席者：評議員6名
第1号議案	定款変更について	
第2号議案	千鳥ヶ丘保育園の運営規程及び重要事項説明書の変更について	
第3号議案	基本財産担保提供承認申請について	
第4号議案	支援センター憩いの里の休止について	
第5号議案	補正予算（案）について	
第6号議案	事業計画（案）について	
第7号議案	資金収支予算（案）について	

【評議員選任・解任委員会】

第1回評議員選任・解任委員会	令和7年5月30日(金)	出席者：評議員選任・解任委員5名
第1号議案 評議員の選任について		

5. 監事監査の実施状況

令和7年5月14日(水)	サポートセンターにて	10:00~
・理事の業務執行状況・・・適正である。・法人の財産管理状況・・・適正である。 ・法人・施設の業務執行状況・・・適正である。・法人・施設の会計状況・・・適正である。		

6. 職員状況

【在籍者数(名)】令和7年4月1日時点

サービス区分	正職員	嘱託職員/契約職員	パート職員	合計
飛羽ノ園	44	1	16	61
憩いの里	43	2	15	60
桜川保育園	19	3	11	33
千鳥ヶ丘保育園	19	1	8	28
サポートセンター	3	0	1	4
合計	128	7	51	186

【入職者数一覧(名)】

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	1	2	0	1	2	1	1	1	2	0	1	1	13
憩いの里	3	3	1	0	1	0	1	2	2	2	2	1	18
桜川保育園	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7
千鳥ヶ丘保育園	21	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	22
サポートセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	28	7	1	2	4	1	2	3	4	2	3	3	60

【退職者数一覧(名)】

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0	1	0	7
憩いの里	0	0	1	1	0	0	3	0	1	1	3	4	15
桜川保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
千鳥ヶ丘保育園	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
サポートセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	3	3	1	0	4	1	1	1	4	4	27

【離職率一覧】※離職率(%) = 当期間内の退職者数 ÷ 当期首の在籍者数 × 100

施設名	令和6年度	令和7年度	前年度比
飛羽ノ園	12.7%	11.5%	△1.2%
憩いの里	30.0%	25.0%	△5.0%
桜川保育園	6.0%	6.0%	±0.0%
千鳥ヶ丘保育園		10.7%	+10.7%
サポートセンター	0.0%	0.0%	±0.0%

【面接回数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回	10	6	4	6	5	5	4	2	2	4	9	5	62

【ハローワークでの企業説明会・面接会】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

【採用詳細】

No	勤務地	職種	雇用形態	所持資格	経験	媒体	入職日	退職日
1	飛羽ノ園	介護	パート	初任者	1年1ヶ月	直接	5月1日	
2	憩いの里	看護	パート	正 看	20年3ヶ月	直接(元職員)	4月21日	
3	憩いの里	看護	パート	正 看	11年0ヶ月	職員紹介	5月16日	10月14日
4	憩いの里	看護	派遣	准 看	6年1ヶ月	人材派遣	4月26日	5月31日
5	飛羽ノ園	介護	正職員	初任者	なし	人材紹介	5月1日	2月28日
6	桜 川	保育士	パート	保育士	30年4ヶ月	職員紹介	7月1日	3月31日
7	憩いの里	介護	正職員	実務者	3年2ヶ月	直接(元受講生)	6月1日	
8	飛羽ノ園	介護	正職員	介 福	12年4ヶ月	採用課金	7月1日	
9	憩いの里	介護	正職員	介 福	12年6ヶ月	直接	8月1日	8月5日
10	憩いの里	介護	正職員	初任者	2年9ヶ月	直接(元職員の子)	12月1日	
11	飛羽ノ園	介護	正職員	初任者	0年2ヶ月	ハローワーク	8月1日	10月17日
12	憩いの里	居宅CM	正職員	C M	8年8ヶ月	職員紹介	2月1日	
13	千鳥ヶ丘	調理	パート	なし	なし	ハローワーク	8月16日	
14	飛羽ノ園	介護	パート	介 福	9年3ヶ月	ハローワーク	9月16日	
15	飛羽ノ園	介護	パート	実務者	1年9ヶ月	採用課金	10月16日	12月8日
16	憩いの里	看護	パート	准 看	0年7ヶ月	直接	10月20日	10月27日
17	憩いの里	介護	パート	初任者	1年3ヶ月	直接	11月1日	
18	憩いの里	看護	パート	准 看	42年7ヶ月	直接(元職員)	11月6日	2月8日
19	飛羽ノ園	介護	正職員	初任者	0年0ヶ月	直接	12月1日	
20	憩いの里	看護	パート	准 看	21年8ヶ月	直接	11月1日	
21	飛羽ノ園	介助	パート	なし	なし	職員紹介	12月1日	
22	憩いの里	介護	パート	介 福	15年11ヶ月	ハローワーク	1月1日	
23	憩いの里	介護	正職員	介 福	3年9ヶ月	直接	1月16日	
24	憩いの里	介護	正職員	実務者	9年5ヶ月	職員紹介	2月1日	
25	憩いの里	介護	パート	ヘル2	11年6ヶ月	ハローワーク	2月1日	
26	桜 川	看護	パート	正 看	22年2ヶ月	ハローワーク	3月1日	
27	憩いの里	介護	正職員	介 福	5年8ヶ月	直接	3月1日	
28	飛羽ノ園	介護	パート	ヘル2	15年4ヶ月	採用課金	3月16日	

【産休・育休取得】 ※女性取得者の復帰率100%(復職後の退職者なし)

年度	男性		女性	
	人数	取得率	人数	取得率
令和3年度	0人/1人	0%	0人/0人	0%
令和4年度	3人/4人	75%	3人/3人	100%
令和5年度	2人/3人	67%	2人/2人	100%
令和6年度	0人/1人	0%	1人/1人	100%
令和7年度	1人/1人	100%	1人/1人	100%

【有給休暇】 ※消化率の分母は当年付与された有給休暇の日数、分子は前年度の繰り越しを含む使用日数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
平均取得日数	10.1日	12.0日	12.4日	13.2日	11.5日
平均消化率	70.8%	78.9%	85.1%	84.6%	85.6%

【資格有資格者数】 ※保育士には、保育教諭・保母を含む ※一人で重複して所持している資格含む

介護福祉士	78	救命救急士	1	養護教諭1種	1	幼稚園教諭2種	25
社会福祉士	9	正看護師	14	管理栄養士	2	保育士	35
理学療法士	0	准看護師	10	栄養士	3	小学校教諭1種	1
作業療法士	1	保健師	2	調理師	6	合 計	194
柔道整復師	1	公認心理師	1	幼稚園教諭1種	4		

7. 外部研修受講状況

日時	研修名	研修場所	参加者(名)
令和7年5月23日(金)	令和7年度新規学校卒業予定者対象求人受理説明会	ハローワーク土浦	1
令和7年10月16日(木)	職場のハラスメント対策セミナー	オンライン	1
令和8年2月17日(火)	令和7年度公正採用等人権啓発講演会	牛久市中央生涯学習センター	2
合 計			4

令和7年度

事業報告

社会福祉法人 祥風会

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

理事長 羽鳥 圭一

室長 沼尻 知士

〒300-0823 土浦市小松1-3-3-33ハトリビル6階
T E L 029-896-3521
F A X 029-896-3522
U R L <https://showfukai.com>
E-Ma I k s@showfukai.com

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

1. 総括

令和 7 年度は、介護職員初任者研修 4 名(受講者 4 名)、介護福祉士実務者研修 10 名(受講者 9 名)の方が無事に研修を修了された。介護職員初任者研修では、開校月が7月コースのみの開講となり、4 月、11月については受講希望者が集まらず休講となった。

介護福祉士実務者研修では、令和 7 年度に修了した受講生の 7 名が介護福祉士試験に合格することができた(1名は不合格、1名は次年度受験のため申込みせず、1名は自主退学)。残念ながら不合格となった修了生や受験資格がなく次回受験される方も数名おり、引き続き試験に向けたフォローアップをしていきたい。

また、LINE の活用により、受講生との連絡や相談、修了生へのスキルアップや仕事の相談など小まめに連絡をとることができている。

2. 内容

(1)介護職員初任者研修

① 実施期間・受講者、修了者数

	期間	受講者数(名)	修了者数(名)
第 1 回	4 月 3 日 ~ 7 月 10 日	休講	
第 2 回	7 月 18 日 ~ 10 月 31 日	4	4
第 3 回	11 月 13 日 ~ 2 月 26 日	休講	
合計		4	4

② 施設実習・見学会

令和 7 年度は、施設実習及び見学の希望がなかったため開催しなかった。令和 8 年度も各施設の感染対策状況を踏まえて、希望があれば可能な限り開催する方向で検討している。

③ 年代別受講者数(名)

世代	10代		20代		30代		40代		50代		60代		開催毎の計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
第 1 回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第 2 回	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	4
第 3 回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男女別計	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	4
合計	0		1		0		1		2		0		

(2)実務者研修

① 実施期間・受講者、修了者数

	期間	受講者数(名)	修了者数(名)
第 1 回	6 月 3 日~12 月 2 日	10	9 ※受講者 1 名修了できず
合計		10	9

② 年代別受講者数(名)

世代	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
第1回	0	0	3	3	0	0	0	3	1	0	0	0
合計	0		6		0		3		1		0	

令和7年度

事業報告

社会福祉法人 祥風会

特別養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

飛羽ノ園

理事長 羽鳥 圭一

施設長 中島 勇一

〒300-0823 土浦市小松3-18-18

T E L 029-826-2941

F A X 029-826-2946

U R L <https://showfukai.com>

E-Ma I hiwanoen@showfukai.com

特別養護老人ホーム飛羽ノ園
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護
ユニット型サテライト型地域密着型介護施設(とわ)

【1】運営(運営方針に対する報告)

1. 介護福祉施設

ケアカンファレンスを定期開催し他職種協働のもと、施設サービス計画書の更新を行った。しかし、集団生活の中で利用者一人ひとりが、その人らしい生活を継続するための難しさも感じている。利用者一人ひとりが人生を生き抜いた一人の人として尊重した関わり方を目指していきたい。

コロナ禍より制限を強化していた面会や外出・外食ルールの緩和を行ない、利用者が家族や地域から切り離されることの無いよう、外部に開けた施設体制を目指した。家族からはさらなる緩和の声も聞くため、来年度の課題としたい。

従来型では、1月に疥癬の感染者急増により、通常の業務とは違った感染対応が必要となったが、臨時での感染対策委員会を開き、積極的に保健所に相談する等、利用者・家族が安心した生活を送るための対策を講じて実施してきた。年度内の収束は叶わなかったが、職員としては知識・経験ともに成長できたと感じている。

2. 短期入所・介護予防短期入所生活介護

利用者が長く在宅生活の継続を目的に、出来るだけ同居家族のニーズに合わせた利用日をご案内できるようにケアマネジャーや他利用者の利用日の調整を行った。時には予定日以外での飛び込み依頼にも柔軟に対応することが出来た。

一方、施設内でインフルエンザの集団感染が発生し、短期入所の受け入れが出来ずご利用者や家族、その他関係機関に迷惑をかけてしまった。また、疥癬の集団発生においては、利用者やその家族に周知徹底を図り、感染を防ぐ行動をとることが出来たが、多くの方が収束まで利用を控えるという判断をされ、稼働率が大きく低下してしまった。

3. 稼働率報告

種別	従来		ユニット		ショートステイ	
	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
年間ベッド数(最大)	18,250	18,250	7,300	7,300	3,650	3,650
利用延べ人数	18,165	18,125	7,182	7,216	2,703	2,261
稼働率(%)	99.5	99.3	98.4	98.8	74.1	61.9

【2】事業実績(主に数値的な報告)

1. 入居者推移・実数

(1) 入退居者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
従来	入所	0	0	2	1	1	1	1	2	3	0	0	1	12	12
	退所	0	0	2	2	0	1	2	2	2	0	0	1	12	11
とわ	入所	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	5	4
	退所	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	5	4

(2) 入居・退居経路

入居経路	従来型	ユニット	退居経路	従来型	ユニット
居宅	9	2	永眠	11	3
病院	0	0	病院	1	1
老健	2	2	老健	0	0
サ高住	0	1	居宅	0	0
グループホーム	0	0	グループホーム	0	0
他特養	1	0	他特養	0	1
計	12	5	計	12	5
前年度計	12	4	前年度計	11	4

(3) 要介護度別 ※令和8年3月31日現在

要介護度	性別				人数計		前年度	
	男		女		従来	とわ	従来	とわ
	従来	とわ	従来	とわ				
1	1	0	6	2	7	2	4	2
2	1	0	5	2	6	2	5	0
3	7	2	8	7	15	9	17	12
4	2	0	15	6	17	6	16	5
5	1	0	4	1	5	1	8	1
合計	12	2	38	18	50	20	50	20
平均要介護度	3.0	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.3	3.1

(4)年齢構成 ※令和8年3月31日現在

年齢(歳)		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
従来	男性	1	1	1	3	1	2	3	12
	女性	0	1	0	2	6	11	18	38
とわ	男性	0	0	1	0	0	0	1	2
	女性	0	0	0	0	2	3	13	18
合計		1	2	2	5	9	16	35	70
前年度		1	2	3	2	11	12	39	70

(5)入居者要介護度別利用状況

①従来

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数 (延人数)	6	4	17	15	8	50
5		6	4	17	15	8	50
6		6	4	17	17	8	52
7		6	4	16	17	8	51
8		6	4	16	17	7	50
9		6	4	17	18	6	51
10		7	5	15	18	6	51
11		7	5	15	19	5	51
12		7	5	16	19	5	52
1		7	4	16	18	5	50
2		7	5	16	17	5	50
3		7	6	16	17	5	51
R7			78(2,372)	54(1,614)	194(5,763)	207(6,207)	76(2,169)
R6		53(1,612)	67(2,028)	194(5,853)	206(6,054)	90(2,618)	610(18,165)

②とわ

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数 (延人数)	2	0	13	5	1	21
5		2	0	10	6	1	19
6		2	1	10	6	1	20
7		2	1	10	6	1	20
8		2	1	10	6	1	20
9		2	1	10	6	1	20
10		3	1	10	6	1	21
11		2	2	9	6	1	20
12		2	2	9	6	1	20
1		2	2	9	6	1	20
2		2	2	9	6	1	20
3		2	2	9	6	1	20
R7			25(738)	15(439)	118(3,468)	71(2,111)	12(349)
R6		24(730)	15(440)	105(3,131)	73(2,177)	24(704)	241(7,182)

《考察》

リスト順での案内と入所検討委員会での緊急性の判断との両面から検討し入所へ導くことが出来た。また、年度内で12名の入居者が退所し、うち1名が病院、11名が看取りであったことから、特養として最後まで観る・看るという存在意義を示すことが出来たと考えている。一方で空床が出てからの入所案内では、ショートステイを長期的に利用されている方が、次の入所順の場合にはスムーズに案内できているが、リスト順ではない場合には入所への案内に時間を要してしまった。

要介護度では要介護1の入居者の増加が目立っている。入院が原因で介護申請もしくは区分変更の申請で、一時的に高くなった要介護度が施設内で状態改善したことや、核家族の増加や親族の介護力の衰退により独居世帯・高齢世帯での日常生活の継続や経済的に困難となっているケースの増加が要因だと考える。

(6)短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
4	実人数 (延人数)	0	0	3	2	6	3	0	14
5		0	0	4	2	8	3	0	17
6		0	0	3	2	6	3	0	14
7		0	1	2	2	7	3	0	15
8		0	1	4	3	8	1	0	17
9		0	1	3	3	7	2	0	16
10		0	1	3	3	6	2	0	15
11		0	1	3	4	6	2	0	16
12		0	0	2	5	4	1	0	12
1		0	0	0	2	4	0	0	6
2		0	0	0	1	2	0	0	3
3		0	0	0	1	2	0	0	3
R7		0(0)	5(33)	27(290)	30(254)	66(1,297)	20(387)	0(0)	148(2,261)
R6	0(0)	7(24)	33(243)	18(142)	58(1,214)	33(805)	10(275)	159(2,703)	

《考察》

前年度に引き続きショートステイの長期利用を希望する方が多い一方で、家族の支援を受けながら在宅生活を継続している方の定期利用の希望の増加を感じた。さまざまな利用目的に柔軟に対応し、多くの利用者に利用して頂くことが出来るよう利用日調整を行った。

施設内での感染症の発生によりご利用者数が減少した。特に疥癬に関しては、治癒までの期間が数カ月及び方もおり、多くのショートステイの利用者が感染しないために利用を控える判断をされたことが要因と考える。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園(従来型)

【1】重点目標①:気持ちよく働ける人間関係

部署内の職員間だけでなく他部署とのコミュニケーションを多く図る事で、互いの信頼関係を築くことができ、入居者に対するの接遇も少しずつ改善してきている。来年度も継続し取り組む。

重点目標②:働き甲斐のある職場環境

委員会や係にて業務とは違う自分の役割に対して積極的に活動することが出来ていた。特に物品委員会では職員が責任をもって発注や物品管理などを行うこともできるようになった。今後はよりコストを意識した活動を行う。

重点目標③:介護スキルの向上

入居者に対し、言葉使いや態度などは改善してきているが、職員の余裕がない時などには大きな声や不適切な対応がみられることがあり、来年度も継続して改善していけるようにしていきたい。また、入居者の内出血事故の報告も見られたため、原因追究し、来年度の事故報告数減少を図る。

1. 医務

(1)長谷川式スケール実施状況

※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い(診断結果は参考)

年齢(歳)	性別	点数							合計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	1	0	0	0	0	1
70~74	男	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	男	2	1	0	0	0	0	0	3
	女	0	2	0	0	0	0	0	2
80~84	男	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	1	1	0	1	0	2	0	5
85~89	男	0	0	1	1	0	0	0	2
	女	3	2	1	0	2	2	1	11
90~94	男	0	1	0	0	0	1	0	2
	女	2	3	2	4	1	0	0	12
95~	男	0	1	0	0	0	0	0	1
	女	3	1	2	0	1	0	0	7
計		11	12	7	8	5	5	2	50

(2)日常生活状況(ADLの状況)※令和8年3月31日現在

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	25	18	17	10	21	19	0	33	17	4	30	16
前年度	39	5	6	12	20	18	2	31	17	2	30	18
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)		移動(車いす)			
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	自立	一部介助	全介助	
人数	16	16	18	25	10	15	5	7	12	11	18	
前年度	13	21	16	23	12	15	10	3	3	19	14	

(3)処置・看護記録集計(ショートステイ含む)

処置名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
点眼	69	72	68	107	102	83	91	59	62	22	65	86	886
処置	103	107	164	151	150	156	133	78	86	57	100	96	1,381
軟膏・湿布	527	612	713	719	756	848	933	744	881	1,220	1,161	811	9,925
テープ	170	206	179	194	173	169	144	132	147	127	112	124	1,877
救急対応	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
看取り	0	0	2	2	0	1	2	1	2	0	0	1	11

(4)他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合計
延人数	0	15	25	137	10	0	419
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳外科	呼吸器内科	放射線科	
延人数(名)	0	6	206	2	1	0	
受診科名	形成外科	耳鼻科	消化器内科	精神科	神経内科	ペースメーカー	
延人数(名)	3	0	0	1	1	3	
受診科名	婦人科	心臓血管外科	循環器内科	代謝内科	脳神経内科	緩和ケア	
延人数(名)	0	4	4	1	0	0	

(5)入浴実施状況

①特養

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
特浴	135	134	151	144	165	148	130	137	94	303	142	133	1,816
一般浴	264	234	278	268	279	277	287	301	248	118	297	274	3,125
合計	399	368	429	412	444	425	417	438	342	421	439	407	4,941

②短期入所生活介護(予防・空床利用含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数(名)	75	65	82	74	76	66	86	87	57	39	19	17	743

《考察》

感染症の影響で特に疥癬対応により入浴が増えている入居者がみられている。また、入浴拒否が強い入居者に対しては曜日を変更したり、声掛けをする職員を変更したりと工夫している。今後も入浴ミスがないよう入浴係の職員が中心になって対応していきたい。

2. 給食

(1)令和5年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	1kcal	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	g
目標値	1,553	52.1	41.8	521	4.7	0.62	0.95	82	6.7
4月	1,673	63.0	46.8	550	8.8	0.77	0.85	65	8.3
5月	1,683	63.4	48.0	536	9.1	0.79	0.83	72	8.0
6月	1,614	59.1	44.0	482	8.4	0.73	0.72	66	8.1
7月	1,611	58.3	43.5	533	8.0	0.71	0.57	62	7.7
8月	1,603	58.1	41.7	542	8.3	0.71	0.56	60	7.8
9月	1,624	61.3	42.6	537	8.5	0.76	0.56	66	7.8
10月	1,610	61.0	41.8	546	8.5	0.76	0.55	70	7.5
11月	1,623	61.9	42.3	542	8.3	0.75	0.55	70	7.7
12月	1,634	61.1	47.8	673	7.8	0.73	0.61	63	7.6
1月	1,631	61.2	46.2	665	7.7	0.71	0.58	64	7.7
2月	1,630	61.9	45.3	742	7.2	0.92	0.56	82	7.5
3月	1,660	61.1	47.8	753	6.9	0.93	0.60	82	7.6

(2)食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	17,688	17,557	17,688	52,933
ユニットとわ	7,060	7,026	7,061	21,147
ショートステイ	2,044	2,217	2,053	6,314
デイサービス	0	5,239	0	5,239
職員	724	2,621	730	4,075
実習生	0	37	0	37
延人数(名)	27,516	34,697	27,532	89,745

②選択食

日時	A	B
4月28日	メバルの煮つけ	鶏肉のマヨネーズ焼き
5月27日	鯖の味噌煮	鶏肉のゆず塩焼き
6月5日	鯖の竜田揚げ	豚肉の生姜焼き
7月12日	魚のパン粉焼き	鶏肉のネギ塩焼き
8月29日	メバルの煮つけ	鶏肉の和風ソースかけ
9月29日	白身魚フライ	メンチカツ

10月22日	魚のつけ焼き	豚肉のネギ塩炒め
11月24日	鶏のから揚げ南瓜コロッケ	メンチカツ
12月15日	鶏のから揚げ	アジフライ
1月9日	鯖の味噌煮	豚肉の生姜焼き
2月17日	牛肉コロッケ	カニクリームコロッケ
3月21日	鯖のバター醤油焼き	牛肉のしぐれ煮

③行事食(従来型)行事食

1	日 時	4月12日	行事名	行事食
	しらす丼温玉のせ、若竹汁、春のかき揚げ、ふきとそばろのとろみ煮、いちごゼリー			
2	日 時	5月5日	行事名	行事食
	梅と大葉の混ぜご飯、お吸い物、筍入り和風ハンバーグ、春の彩りポテトサラダ、マンゴープリン			
3	日 時	6月13日	行事名	行事食
	けんちんそば、茄子の田楽、野菜のみょうが和え、りんごゼリー			
4	日 時	6月18日	行事名	飛羽ノ園祭り
	焼きそば、バーベキュー、コールスローサラダ、おにぎり、ジュース、アイスクリーム			
5	日 時	7月7日	行事名	行事食
	七夕そうめん、夏野菜天ぷら、冷奴、フルーツ			
6	日 時	8月16日	行事名	行事食
	つちうらカレーライス、かきたまスープ、スパゲティサラダ、梨のコンポート			
7	日 時	9月14日	行事名	敬老会ランチ
	うなぎ散らし、澄まし汁、天ぷら盛り合わせ、茶わん蒸し、ひよこ			
8	日 時	9月18日	行事名	行事食
	五目飯、具たくさん汁、白身魚の湯葉巻き揚げ、とちおとめいちごゼリー			
9	日 時	10月18日	行事名	行事食
	とうじそば、鶏の山賊焼き、ひじきのサラダ、ぶどうゼリー			
10	日 時	11月18日	行事名	行事食
	ごんじゅう御飯、アサリの清汁、さんが焼き、からなます、フルーツ			
11	日 時	12月10日	行事名	クリスマスランチ
	ちらし寿司、清汁 揚げ鶏、コールスローサラダ、シャンメリー、パンナコッタ			
12	日 時	12月24日	行事名	行事食
	ミックスピラフ、コンソメスープ、煮込みハンバーグ、プリン			
13	日 時	12月31日	行事名	行事食
	年越しそば、かき揚げ、キャバツの和え物、フルーツ			
14	日 時	1月1日	行事名	行事食
	ちらし寿司、清汁、炊き合わせ、抹茶デザート			
15	日 時	2月3日	行事名	行事食
	ネギトロ丼、清汁、けんちん煮、菜の花のおひたい、フルーツ			
16	日 時	3月3日	行事名	行事食
	ちらし寿司、アサリのお吸い物、鶏肉と春野菜のサラダ、いちごゼリー			

(3)栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス(開催回数 38回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数(名)	35	13	9	34	13	10	30	2	23	29	15	8	221

(4)会議・研修

- ・給食会議 毎月第4水曜日
- ・全体会議 毎月10日
- ・茨城県栄養士会研修、茨城県福祉栄養士会研修

《考察》

インフルエンザや風邪などの集団感染等があり、食欲低下等がみられ、体重が大きく減少して、状態低下した入居者も多く見られた。エンシュアや濃厚流動食を提供し、他職種連携し早めの対応が出来てきたと考える。今後も連携し入居者の健康を維持できるようにしていきたい。

米の値上がりだけでなく、食材費や水光熱など物価高騰により、入居者の食の楽しみが寂しくなっている。委託業者との話し合いを持ち献立に反映した。また、甘味処のほか、行事食など普段食べられないものを提供するなど少しでも美味しい、うれしいと言って貰えるようにしていきたいと考えている。

3. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

① ケアカンファレンス実施人数(開催合計 入居 41回 SS 22回)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居(名)	10	10	14	8	11	13	10	8	13	11	10	12	130
SS(名)	2	5	4	2	2	2	4	2	2	1	1	1	28

② 認定調査の実施人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数(名)	1	4	2	2	4	0	0	0	2	0	3	1	19

《考察》

定期的なカンファレンスにてケアプランの作成・見直しを行った。ADL や認知機能の低下、状態やケアの変化に合わせ、タイムリーに状態を把握し、ケアプランの見直しや要介護度の区分変更申請に繋がれるようにこまめに現場に足を運び、他職種とコミュニケーションを積極的に図っていく事の重要性を感じた。ケアプランに余暇活動や趣味などを組み込みながら、生活の中で楽しみを見つけ、活気ある活動ができるように現場と連携を図っていきたい。

4. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

1	入所検討委員会	申込みの点数は低いものの緊急性のある方が施設入所出来るよう検討を行うことができた。一方で、職員不足や感染症対応により従来型・ユニット型職員が参加することが難しかった。
2	防災対策委員会	毎月ではなく定期的な避難訓練に変更し、より災害を意識して訓練を実施することができた。しかし、従来型では感染症の影響により BCP 訓練への参加が難しいことがあった。
3	身体拘束適正化委員会	身体拘束の入居者様ゼロを維持できている。今後も身体拘束をしない対応を維持できるよう、職員間で話し合い対応していききたい。
4	権利擁護・虐待防止委員会	虐待の芽チェックリストを通して課題が上がってきているが、言葉使いや対応方法など不安な要素が多く来年度もしっかりと課題として考えていく必要がある。少しずつではあるが職員の言動の改善が見られた。
5	感染症予防対策委員会	今年度はインフルエンザ、疥癬と感染対応が必要な場面が多く、その都度医務室や他部署と情報共有ができ、早い対応が行えたと思う。疥癬マニュアルを作成段階のため来年度も引き続き統一した対応ができるように活動していききたい。
6	事故防止委員会	各部署で定期的に情報共有を行って違う視点からの意見もあり、大変参考になった。しかし事故件数にはあまり変化が見られなかったため事故防止につながるよう努めていききたい。
7	生産性向上委員会	職員の意見を取り入れた業務改善を行う取り組みとして『気づきシート』を実施した。今後も職員間で意見やアイデアを出して働きやすい職場になるように継続していききたい。
8	接遇力向上委員会	朝礼でのスローガンを検討し実施を行った。スローガンはあいさつや入居者様に関心を持つといった内容であり、職員アンケートからも一定の効果を感じる事ができた。
9	介護力向上委員会	前年度から変更し介護スキルアップ委員会として活動していたが、具体的には大きな成果ができなかった。今後は活動内容を明確にし委員会として活動していけるようにしていききたい
10	物品・備品管理委員会	職員が分担して各係に分かれて責任をもって活動することができた。今後も継続していききたい。また、来年度は物品管理や発注では、よりコストを意識できるようにしたい。
11	寄り添う看取り委員会	医務室が中心となり看取りを行った入居者に対しアンケートを実施し、よりその人にあったターミナルケアになるように努めていた。今後も継続し委員会として具体的な活動も含めできるようにしていききたい。
12	褥瘡予防委員会	褥瘡予防対策の検討・周知を行い、前年度から褥瘡件数を減らすことが出来ている。入居者個別の褥瘡予防対策リストの作成し、職員が各々褥瘡対策を考える事での啓発に繋がるよう工夫してきた。
13	胃ろう・吸引対策委員会	胃瘻対象の入居者がいないため、実質活動は出来ていない。
14	広報委員会	インスタグラムやフェイスブックから施設内の様子の情報発信を行った。外部の方々から好評の声を頂くことができた。委員会メンバーで PC 内に溜まった入居者の写真整理を他職員に依頼し実施できている。今後は入居者一人ひとりのフォルダを作成し写真を管理していききたい。
15	レクリエーション委員会	前年度よりカラオケや外気浴など気分転換を図る機会を増やすことが出来たが外出レクなどが数回しか出来なかったので来年度は外出レクを増やしていききたい。もちろん室内レクも増やし活気ある生活をして頂けるようにする。

(2)行事報告

月	日	内 容	参加者			
			入居者	職員	その他	合計
4	13	甘味処(練りきり)	50	8	0	58
5	11	甘味処(ヨーグルト)	51	12	0	63
	25	飛羽ノ園祭り	55	20	38	113
6	28	誕生日会	7	12	0	19
7	16	日帰り旅行	6	5	2	13
	20	誕生日会	4	11	0	15
8	10	甘味処(アイスクリーム)	55	13	0	68
	27	誕生日会	2	12	0	14
9	14	敬老祝賀会	55	15	55	125
	28	誕生日会	4	12	0	16
10	12	甘味処(ゼリーアイス)	53	12	0	65
	26	誕生日会	6	11	0	17
11	16	甘味処(焼き芋)	53	12	0	65
	17	誕生日会	4	11	0	15
12	17	クリスマスランチ	58	18	5	81
	21	クリスマス会	58	12	3	73
1	3	正月式	55	15	4	74
	14	誕生日会	5	15	0	20
2	12	甘味処(ロールケーキ)	52	14	0	66
	25	外気浴(梅を見ながらおやつ)	30	16	0	46
3	14	甘味処(チョコレートケーキ)	51	13	0	64
	29	誕生日会	7	12	0	19

《考察》

甘味処や誕生日会を定期開催することができた。今後も継続していきたい。来年度は外出する機会を増やして季節を感じられる行事やおやつなどを検討し実施していきたい。また、誕生日会でも普段とは違うことが出来るように職員間で意見交換していきたい。

5. ユニット費

月平均額	年間累計
10,962	131,547

《考察》

例年と同様に入居者の生活用品の購入が多かった。来年度は入居者の生活用品のほかにレクリエーション用品など余暇活動にも対応できる物の購入を検討したい。また、勤務内に購入できるように努める。

6. 研修

(1)内部研修・訓練報告

①施設全体研修(従来型・ユニット・デイ・在支・居宅・事務)18:30~19:00

月	日	内容(対象者)	参加人数
8	8	口腔衛生研修	39名
3	10	口腔衛生研修	39名

②部署内研修

月	日	内容(対象者)	参加人数
6	28	スキンケア研修(外部講師)	11名
1	28	接遇研修	12名
5	1	入職時研修	2名
7	1	入職時研修	1名
8	21	入職時研修	1名
12	1	入職時研修	1名
12	5	入職時研修	1名

ジョブモデル動画研修(従来型職員、ユニット型職員のみ対象)

4	権利擁護・虐待防止研修①・感染予防及びまん延防止①・接遇力向上①
5	認知症ケア・褥瘡予防
6	感染予防及びまん延防止②・事故防止・事故対応①
7	感染予防及びまん延防止③・接遇力向上②
8	BCP①・ターミナルケア①
9	権利擁護・虐待防止研修②・身体拘束適正化①
10	接遇力向上③・ハラスメント
11	感染予防及びまん延防止④・事故防止・事故対応②
12	BCP②・緊急時対応
1	接遇力向上④・身体拘束適正化②
2	BCP③・ターミナルケア②

③内部訓練

8/12～8/22	感染予防「ガウンテクニック」(従来)	21名
11/19	BCP「避難経路確認」	6名
1/24～3/30	感染予防「手洗いチェック」(従来・ユニット)	42名
2/18	BCP「災害時用簡易テーブルの作成」	9名

(2)外部機関研修

研修名	開催時期	研修内容	人数
感染症対策研修(霞ヶ浦医療センター)	6/20	感染症の状況について、他施設との情報交換	3
相談員・施設ケアマネ研修会	9/24	困難ケースの共有、「生活相談員」モチベの保ち方	1
接遇マナー研修	10/8	基本的な接遇マナーについて	2
ユニットリーダー実地研修	11/4～7	「特別養護老人ホーム松籟荘」にて	1
安全運転管理者研修	12/9	安全運転の基本、運転指導	1
知的障害者とのかかわり方について	12/25	「ブルーロータス」にて(質疑応答)	3
アンガーマネジメント研修	1/22	アンガーマネジメントの理解	2
合計			13名

(3)老人福祉施設協議会の県南・土浦地区ケアマネジャー研究会・交流研修

県南・土浦ブロック定例会	6/26、11/20、2/19
ブロック代表者会議・研修会	5/22、6/18、7/11、9/1・24、11/21

《考察》

ジョブモデルアカデミーを活用し特養のすべての職員に法定研修を実施した。その他、重点目標に定めた接遇に関する研修動画視聴を必須とし、すべての職員が修了できた。新任研修に関しても、入職時に必須となっているものを確実に実施し、各種指針・BCPの浸透を図った。

外部研修にて同地区にある障害者施設『ブルーロータス』へ訪問し、知的障害者の勉強会を開いていただいた。近隣の社会資源として今後も連携して行きたいと考えている。

7. 実習生受入れ

アール医療福祉専門学校、AOI 国際福祉専門学校、日本福祉教育専門学校、茨城県社協から介護福祉士・初任者研修の実習生の受け入れを行った。外国人実習生が多く、伝えたいことがうまく伝わらない難しさを感じた。その他に、てんかん発作や精神的不安などの事情を抱えた実習生もあり、様々な対応を学ぶ機会となった。

8. ボランティアの受け入れ

夏の季節に小松地区のお囃子披露があり、多くの入居者に喜んで頂くことが出来た。しかし、インフルエンザ感染症や発熱・風邪症状の増加、また、疥癬の増加に伴い基本的にはボランティアの受け入れは行わなかった。

9. 地域貢献活動「ふらっと HIWA～介護のことなんでも語らおう」

施設見学会	9/10 権利擁護委員	来場者：1日間 計 19名
-------	-------------	---------------

※介護相談会を開催することができなかった。来年度は活動内容を見直し、無理のない範囲で施設発信の企画も計画したい。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園(とわ)

[1] 重点目標:ご入居者一人一人“楽しみ”の実現と“安心”のあるケアの実践

感染症が落ち着かず外食の機会を持つことが出来なかった。入居者より欲しいものの要望を聞き、移動販売や代行にて購入し、少しでも買い物をする楽しみを提供できた。来年度は外食イベントやスーパーでの買い物を企画し生活の楽しみを増やしていきたい。

きめ細やかなケアの提供については以前よりは配慮出来るようになった。しかし、業務が込み合ってしまう忙しくなってしまうと疎かになってしまうことがあった。忙しいさなかでも時間を見つけ、爪を切るなどの整容やスキンケアが出来るようにしたい。また、入居者の小さな変化にも気付けるよう日々の観察力を磨きユニット職員間で周知させていきたい。

職員間の協力体制の強化については、以前より各ユニット職員で情報共有し協力出来るようになった。両ユニットとも介助量が増えてきている為、今後も職員間の声の掛け合いを増やして業務のしやすい環境を築いていきたい。

1. 医務

(1)長谷川式スケール実施状況 ※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い(診断結果は参考)

年齢	性別	点数							計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	男	0	0	1	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
80~84	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	2	0	0	0	0	0	3
85~89	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	1	0	0	2
90~94	男	0	1	0	0	0	0	0	1
	女	1	1	2	0	0	1	0	5
95~	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	2	0	2	0	1	0	8
計		5	7	3	2	1	2	0	20

(2)日常生活状況(ADLの状況)※令和8年3月31日現在 ※単位は人

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	15	1	4	6	9	5	4	10	6	6	8	6
前年度	10	6	4	2	5	13	0	13	7	3	9	8
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	8	7	5	14	3	3	8	0	0	4	1	7
前年度		10	4	6	8	6	4	1	0	2	5	8

(3)処置・看護記録集計(ショートステイ含む)

処置名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
点眼	118	96	90	93	93	90	93	83	93	93	84	113	1,139
処置	14	0	28	38	19	11	27	56	66	54	18	15	346
軟膏・湿布	62	101	112	134	116	192	193	172	227	274	283	245	2,111
テープ	30	31	30	31	31	14	31	30	31	31	28	31	349
救急対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看取り	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3

(4)他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計	
延人数	1	5	8	8	1	0		278
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳外科	呼吸器科	乳腺外来		
延人数	0	1	242	6	1	0		
受診科名	形成外科	耳鼻科	消化器内科	精神科	神経内科	口腔外科		
延人数	4	0	1	0	0	0		

(5)入浴実施状況

ユニット名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
むべ	65	72	80	88	77	76	76	75	82	76	66	80	913
わかくさ	80	81	86	80	77	76	76	87	80	82	75	76	956
合計	145	153	166	168	154	152	152	162	162	158	141	156	1,869

2. 給食

(1)食事提供状況

①行事食(ユニット・とわ)

1	日時	5月9日	行事名	母の日イベント
	ロールケーキ			
2	日時	7月4日	行事名	季節のフルーツ
	メロン			
3	日時	7月14日	行事名	季節のフルーツ
	スイカ			
4	日時	7月16日	行事名	餃子パーティー
	餃子			
5	日時	8月18日	行事名	すいか割り
	スイカ			
6	日時	8月21日	行事名	とわ家庭菜園収穫
	夏野菜カレー			
7	日時	10月31日	行事名	とわ家庭菜園収穫
	スイートポテト			
8	日時	1月14日	行事名	マクドナルド
	マクドナルド(ハンバーガー、ポテト、マックシェイクなど)			
9	日時	2月3日	行事名	節分
	ロールちゃん			
10	日時	3月3日	行事名	ひな祭り
	ひなあられ			
11	日時	3月25日	行事名	フレンチトースト
	フレンチトースト			

(2)栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス(開催回数 21回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(名)	15	2	4	14	3	5	13	6	4	11	6	5	88

《考察》

ユニットも開所以来年数が経過したことで、2つのユニットの利用者の介護度も変わり、食事形態や食事介助の必要な人数にも偏りが出てきている。食事介助を手伝うことで、利用者の嗜好や嚥下の状態、栄養状態等を速やかに理解し、多職種協働しより良い食事の提供で栄養状態の改善ができるようにしていきたい。

3. 施設ケアマネジャー

(1)ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数(開催合計 30回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(名)	3	4	5	4	3	5	5	5	3	6	4	5	52

②認定調査の実施人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(名)	1	0	1	0	1	0	0	0	1	2	0	1	7

《考察》

定期的にカンファレンスを実施しケアプランの見直しを行うとともに、入居者や家族とコミュニケーションを多く図りながら意向や状態把握に努めた。ADLの低下により介助量が増えた方もいたが、少しでも残存機能の活用に繋がられるような目標設定に努めた。ユニットでは多職種が集まったカンファレンスが難しく職種ごとに話を聞く事も多かったが、カンファレンス方法の見直しも行いながらより良いケアに繋がられるようにしていきたい。

4. 委員会

(1)委員会活動報告(以下はとわのみの委員会)

1	物品購入委員会(とわ)	コスト削減や物を大切に扱う意識は以前より高まったと感じた。今後も無駄な在庫を出さない様継続して在庫管理を意識していきたい。
2	運営推進委員会(とわ)	参加メンバーより地域の行事の情報共有を行った。小松地区との『花いっぱい運動』や『小松のお囃子披露』などの機会を継続することが出来た。
3	リハビリ委員会(とわ)	今年度は柔道整復師と理学療法士と密になって入居者の可動域や歩行等の連携を図り入居者へ貢献出来た。引き続き情報共有して入居者の生活の支えになる様に対応していきたい。

(2)行事報告

月	日	内 容	参加者			
			入居者	職員	その他	合計
4	15	【花見】 近くの千鳥ヶ丘公園へ少人数ずつ散歩し、桜を見ながら季節を味わう事が出来た。	12	4	0	16
5	25	【飛羽ノ園祭り】 飛羽ノ園祭りをを行い外部の方を呼び、炭坑節等を職員・入居者と参加する事が出来た。	20	10	23	53
7	16	【日帰り旅行】 日帰り旅行で大洗水族館へ従来型と合同で参加した。普段見る事ない景色や海産物を召し上がり笑顔の多い旅行となった。	6	2	2	10
8	18	【スイカ割り】 スイカが大きすぎてなかなか割れず職員と共にスイカを割った。美味しいと嬉しそうに召し上がり季節を感じる良いイベントとなった。	20	5	0	25
9	14	【敬老祝賀会】 議員の方や家族等大勢の方が参加された。中には最高齢で 108 歳の入居者もあり盛大な拍手が湧いた。	20	6	33	59
10	30	【ハロウィン】 共同生活の壁にハロウィンの飾りつけを行い普段と違う環境を提供した。おやつには飛羽菜園にて収穫したサツマイモを使用したスイートポテトを入居者と共に調理し皆で召し上がることが出来た。	20	6	0	26
12	21	【クリスマス会】 感染対策の為、家族は参加せずに行った。牛乳パックをツリーに見立てて作った物に入居者がシール貼る工作をしたり、プレゼントを貰ったりと楽しいクリスマスを過ごされた。	20	9	2	31
1	3	【正月式】 従来型で感染症が蔓延していた為、別々で式を行った。年男・年女の紹介と入居者の今年の抱負を紹介し式典の最後には玄関の門松前にて全員で記念撮影をした。15 時のおやつ時には甘酒を提供し、「久しぶりに飲めて良かった」と喜ばれていた。	20	7	4	31
2	3	【節分】 入居者・職員で鬼役をし、豆まきを行った。邪気払いができ、とても楽しまれていた。	20	5	0	25
3	25	【甘味】 フレンチトースト作り	20	5	0	25

《考察》

BCP の見直し・変更を感染委員会・防災対策委員が積極的に活動することが出来た。その他、委員会の中には活動があまりできていないものがある。外出行事などを中心に活動量を増やしていきたい。

5. ユニット費

①わかかさ

月平均額	年間累計
12,000 円	144,000 円

《考察》

入居者が生活を楽しめるようとわ菜園の苗等を購入した。しかし、コーヒーや紅茶などいつもと同じものを購入していることもある。今後は、入居者からリクエストをいただき購入出来るようにしたい。

②むべ

月平均額	年間累計
11,000 円	132,000 円

《考察》

日用品の購入が多かった。来年度は日用品だけでなく、入居者に楽しんでいただけるようなものに使用していきたい。

飛羽ノ園デイサービスセンター指定通所介護事業所
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 25 名)

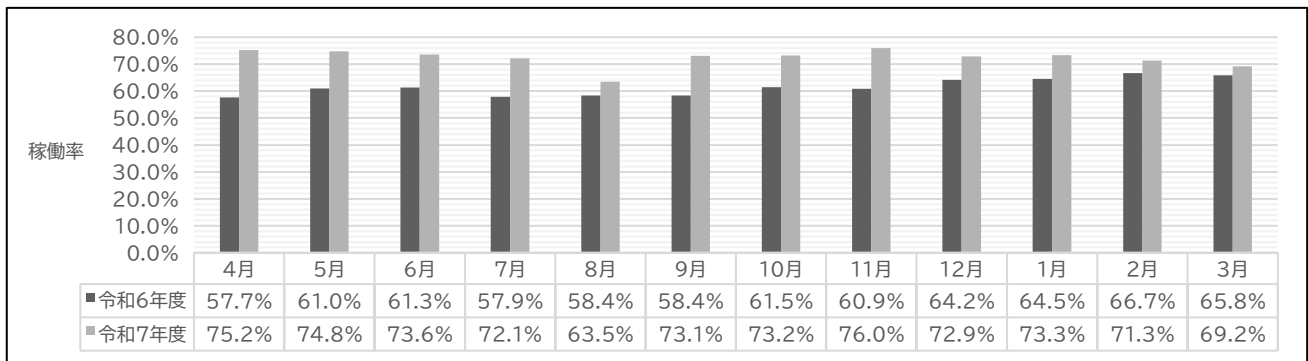
1. 運営

今年度も外部居宅への営業活動(月に 2 回以上)に力を入れてきた。実績報告時以外にも利用者一人ひとりの状況報告をこまめに行なった。家族にも日々の様子を伝えてきたことで、デイサービスでの様子を知ることができ、安心出来たとの声もいただけた。そして、1 人でも多くの方に飛羽ノ園デイサービスを知っていただく取り組みとして、営業時に飛羽ノ園のメモ帳やクリアファイルを活用し、各事業所へ配布した。利用者、家族の抱える多様な要望(午前利用、午後利用等)にも積極的に受け入れてきたこともあり、新規利用が増え、稼働率は前年度と比較し、10.9%上昇できた。外出するイベントも増やし行事等の充実化を図ることで飽きのこないデイサービス作りを実施出来た。また今年度より体験利用代を無料にした事で、体験利用の依頼もしやすくなったと新規居宅との繋がりも出来た。今後も新規利用者獲得に向けて積極的に地域へ出向き、ケアマネジャーとの信頼関係を深めていく。

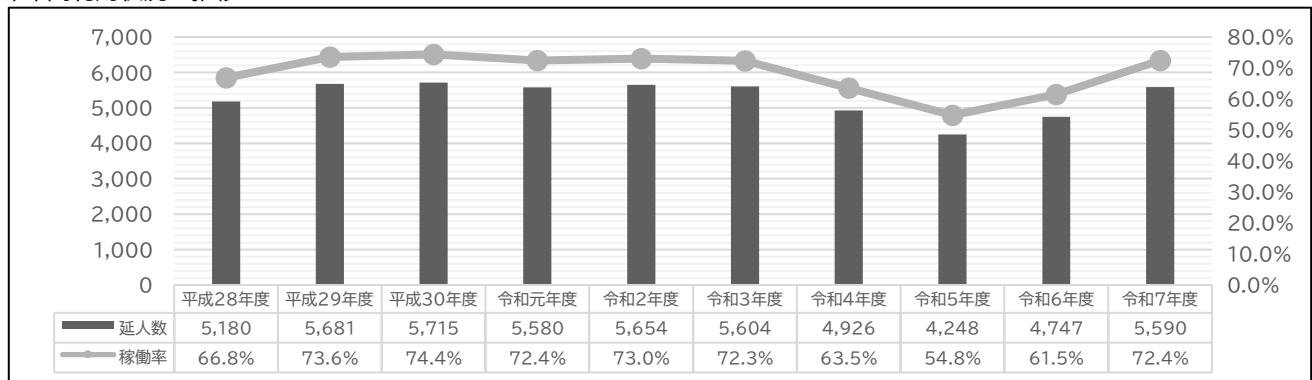
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数(日)	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	26	309
実人数(名)	55	51	53	48	52	49	50	56	51	50	51	53	619
延人数(名)	489	505	460	487	413	475	494	475	474	440	428	450	5,590

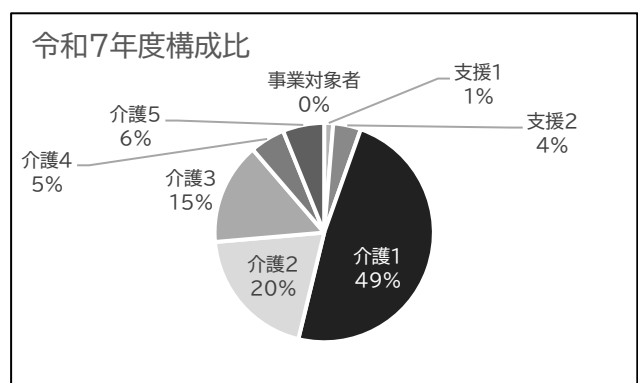
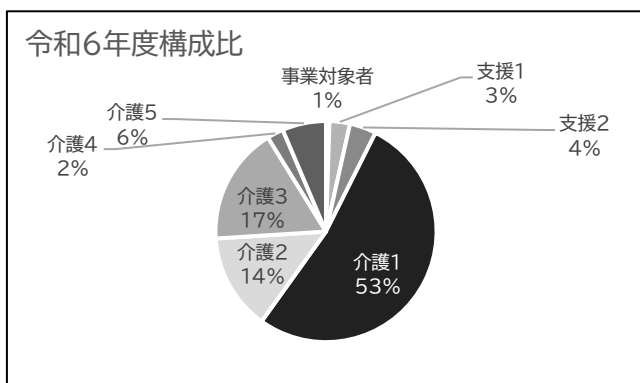


(2) 年間利用状況の推移



(3) 介護度別利用状況

延人数	事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
令和6年度	26	142	184	2,490	671	817	112	305	4,747
令和7年度	0	74	229	2,704	1,109	842	290	342	5,590



3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組み

体調や身体状況に変化が見られた際はその日の内に家族・ケアマネジャーへ報告し、丁寧かつ迅速な援助に努めた。ヒヤリハット・事故報告では、月に一度の事故防止委員会にて他部署と事例検討し再発防止に努めた。今年度も継続して現場職員には議事録や起案・報告書提出に加え、行事も担当制にする事で利用者の想いを汲み取り、個々が責任感をもって業務を遂行することが出来た。

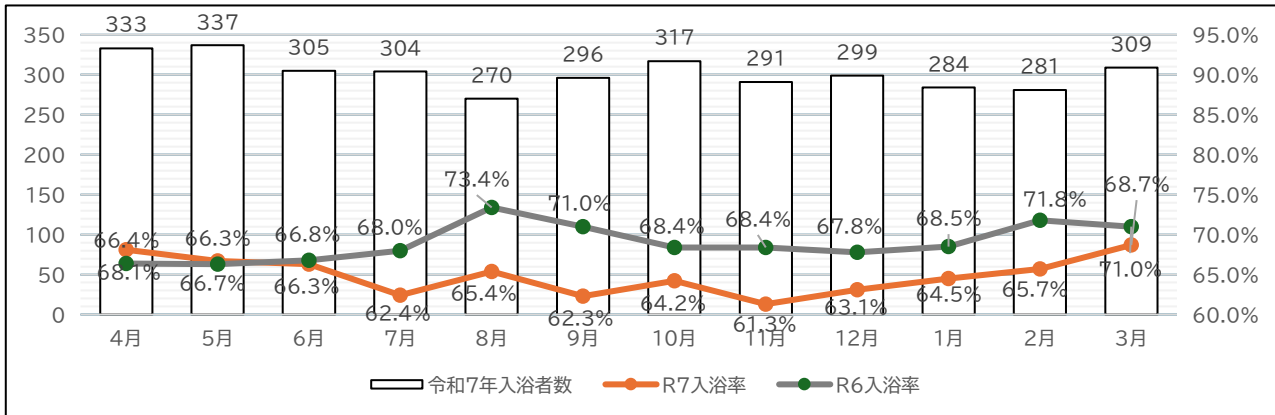
今年度は、民社協の【接客マナー】、県社協の【アンガーマネジメント】研修に参加し職員の資質向上に努めた。

(2) 通所介護・介護予防通所事業計画書作成

利用者の身体状況に変更が見られた際は都度、多職種と連携して検討会を開いて情報共有を図り、計画・評価を行なった。

(3) 入浴サービス(入浴者数・入浴率報告)

今年度は、同姓介助を希望される利用者が増えた為、一人ひとりの要望に寄り添った入浴を実施。また、個浴やメトス浴を希望される利用者や家族がいた為、希望に沿った入浴サービスを実施し、好評だった。



(4) 食事サービス

季節の行事に合わせた選択食(肉類や魚類など選択制)を月に1度、厨房と協力し実施した。おやつには手作りおやつイベントとして柏餅作りを実施し、利用者からは大変好評だった。今年度から麦ご飯を混ぜての主食が提供されたが、利用者から苦情はなく好評だった。白米の固さや味付けについては意見があげられたが、都度給食担当者に伝えることで改善された点も多くみられた。課題点としては、利用者が苦手(アレルギーではない)として禁食対応していた食材が提供されてしまった事案が発生してしまい、厨房職員と経緯の説明と謝罪をし、納得していただけた。年間を通して、不満の声は聞かれなかった。

(5) 排泄介助サービス(定時・随時)

利用者一人ひとりの状態、希望(同性介助等)に合わせた排泄介助を行なえた。頻尿の訴えのある利用者や、歩行不安定の利用者は都度、トイレまで付き添い対応している。車椅子自走希望の方に関しては自分一人でトイレに行きたいと希望されていた為、本人の意思を尊重し距離を置いて見守り対応した。オムツ交換が必要な方に関しては、定時でベッド上にて排泄介助を行い、快適に過ごしていただけるよう努めた。

(6) レクリエーション・行事

今年度も外出行事やイベントを積極的に実施した。園内でのレクリエーションについては、新しい内容を取り入れつつ、ボランティアの来園も増え、利用者から好評だった。試みとして週2回のカスマ移動販売(土曜日)・とくし丸訪問販売(水曜日)を受け入れ、買い物をする楽しみを味わっていただけた。創作活動については、季節感のある壁画の作成や個々の作品を積極的に行ない持ち帰る楽しみや生きがいを感じていただく事が出来た。敬老会では千鳥ヶ丘保育園の園児に来てもらい歌や踊りの披露と交流を行なった。今年度も桜川保育園の園児に、利用者で作成した「手作りパズル」を卒園プレゼントとして渡し、交流を深めることが出来た。

【レクリエーション実施状況(回数)】

言葉の並び替え	17	ボーリング	18	大人の学校	22	漢字当てクイズ	8	文字穴埋め	4
魚釣りゲーム	6	ちよんちよんゲーム	16	ダービーゲーム	2	いつ?どこで	6	二文字入れ	1
カーリング	10	つんでつんで	15	じゃんけんカード	2	タオルでアタック	5	輪投げ	2
替え歌	15	クロスワード	17	漢字の足し算	15	玉ころがし	2	ペットボトルあて	2
ビンゴ	6	絵心クイズ	22	お楽しみ	3	計 23 種類			
216									

【行事実施状況(日数)】

水郷公園チューリップ	2	柏餅作り	2	紅葉ドライブ	5	フラダンスボラ	1	よさこいボラ	1
ボラ(三線)	1	敬老週間	5	つくばねシスターズ	1	初詣ドライブ	5	バラ散策	3
ボラ(河田氏)	2	ボラ(フルート)	4	クリスマス会	2	節分	1	出前食	2
ボラ(ギター)	9	花見ドライブ	2	餅つき	1	計 18 種類			
49									

(7) 個別機能訓練(介護)・運動器機能向上(第一号通所事業)サービス

利用者一人ひとりに機能訓練向上計画をたて、三ヶ月に一度、作業療法士と共同し、目標に応じた機能訓練を実施した。利用者に合わせて自立支援を目指したサービスを提供した。作業療法士が廊下やホールにて定期的な歩行訓練を実施し、生活リハビリとして排泄や入浴時等、立位保持の機会を持つことで、筋力維持・ADLや基本動作の維持向上に繋がった。今年度は、機能訓練の一環として訪問販売(週2回)などの買い物リハビリや外出行事も行なった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練(名)	242	295	246	274	195	257	273	266	292	262	240	254	3,096

(8)送迎サービス

昨年と比較し、遠方の方が増えたことで、長時間乗車による疲労軽減と業務の効率化に努めた。利用者・家族の要望を聞きながら、送迎コースや送迎時間の見直しも行った。半日利用(特に午前利用)の希望が多かく聞かれたが、ニーズに沿った時間送迎を行ったことで大変喜ばれた。ただ、送迎範囲が広くなり、2便送迎の日も増えたことで迎えが遅くなってしまい、電話連絡がくることも何度かあった。迎えが遅くなると予測できるコースに関しては事前に利用者、家族へ電話連絡を入れるなど、一つでも不安を取り除ける対応をしていきたい。

【送迎状況(回数)】

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え (減算)	484 (5)	499 (6)	453 (8)	465 (22)	403 (11)	468 (7)	488 (7)	471 (4)	447 (11)	437 (3)	426 (2)	450 (0)	5,491 (86)
送り (減算)	485 (4)	500 (5)	453 (7)	474 (13)	407 (7)	467 (8)	486 (9)	471 (4)	466 (8)	430 (10)	425 (3)	449 (1)	5,513 (79)
延回数 (減算)	969 (9)	999 (11)	906 (15)	939 (35)	810 (18)	935 (15)	974 (16)	942 (8)	913 (19)	867 (13)	851 (5)	899 (1)	11,004 (165)

【送迎車両走行距離(km)】

車種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース	602	430	443	475	403	430	519	430	452	335	356	485	5,360
ステップワゴン	635	581	529	552	489	453	607	706	577	398	548	425	6,500
ノア	553	609	522	567	556	528	774	607	483	538	481	525	6,743
タント(デイ)	882	858	819	857	807	813	857	761	986	922	1,185	1,032	10,779
タント(居)	392	305	439	340	301	405	360	555	572	568	576	447	5,260
タント(特)	511	457	515	424	485	376	332	518	481	617	367	404	5,487
アルトバン・ピクシス	112	95	97	118	122	206	181	185	196	175	180	148	1,815
ハイゼット	361	342	374	436	375	311	371	375	342	325	387	408	4,407
ミラ(憩い)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	57
合計	4,048	3,677	3,738	3,769	3,538	3,522	4,001	4,137	4,089	3,878	4,080	3,931	46,408

(9)看護報告(処置集計報告)

毎来園時のバイタル測定その他、月に一度の体重測定や希望時の体重測定、食事量のチェックを行った。食事介助や経管栄養の実施、個々の利用者への食事形態の見直しにも努めた。内服薬の確認や介助、排泄介助等を通じて、利用者の状態把握を行った。体調不良時には家族やケアマネジャーに連絡・報告を行ない、介護記録に記載する事で他職種と情報共有した。利用者や家族の希望に沿い、インスリンの見守り・軟膏・湿布・点眼・処置・爪切りも引き続き実施した。感染予防対策として、手洗い・消毒・換気・マスクの着用・環境整備の実施にも努めた。

処置名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
爪切り	6	10	6	11	8	9	10	7	7	7	16	9	106
軟膏塗布	160	164	134	146	103	118	132	139	134	133	155	155	1,673
点眼	33	35	39	50	38	41	40	33	35	37	49	44	474
内服薬	208	219	198	213	164	136	135	153	163	132	150	151	2,022
体重測定	65	62	67	70	71	75	81	82	59	59	55	51	797
湿布	29	17	17	17	8	24	16	29	25	21	15	12	230
ガーゼ	36	36	31	34	30	30	24	17	13	13	25	24	313
インシュリン	13	13	12	12	12	12	11	10	12	11	10	12	140
合計	550	556	504	553	434	445	449	470	448	413	475	458	5,755

(10)事故・ヒヤリハット報告

今年度は、職員による確認不足による事故が目立つ結果となった。職員の声掛けや送迎時の車椅子のロック、送迎時の利用者の私物忘れなど職員によるミスが多かった。職員間での声掛けや確認の徹底を行う必要性を強く感じた。前年度、薬に関して食前・食後等、内服までの確認を怠ったことで落薬や誤薬の事故がみられたが、今年度は確認を徹底する事で事故を防げた。

備品破損については、コンセントのプラスチック上部が破損しており劣化と思われる。他備品なども劣化があると思われる為、早期発見し、事故防止に努める。

多くみられた事案について来年度は同じミスを繰り返さない様、相談員・副主任による職員一人ひとりの成長に合わせた指導・育成を継続して努めていく。

事故種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・痛みなし	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
薬・医療関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車椅子からずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内出血・傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
行事中事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

送迎時トラブル	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	4
確認ミス(職員)	0	0	0	1	1	0	0	3	0	0	3	0	8
介護時ミス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品・物損	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
トイレ使用中ずり落ち	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歩行中力抜け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徘徊関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	1	1	1	2	0	0	6	2	0	4	1	20

(11)地域連携・貢献活動(介護予防教室等)

在宅介護支援センター職員と合同で園内の会議室を利用し、介護予防教室に参加した。来年度も関わりを継続して地域の方々との関係を強め、さらに地域に根差したデイサービス作りを目指す。地域交流としては、例年大好評でもある桜川保育園の園児達との交流も継続することが出来た。今回も利用者による「手作りパズル」を卒園祝いとして贈ることができた。感染症拡大していたこともあり、職員のみで訪問し、直接一人ひとりに手渡しで渡せた。今年度は近隣の千鳥ヶ丘保育園の園児達とも交流を図ることが出来た。お散歩途中での来園や敬老会行事ではデイホールにて歌とダンスを披露され、利用者からは大変好評だった。

(12)実習生・ボランティア受入

バイオリン・フルート・フラダンスなど様々な方々に来園していただき、利用者は大変喜ばれていた。介護等体験で、実習生 10 名を受け入れた。来年度も感染対策を行ないながら積極的に実習生を受け入れていく。

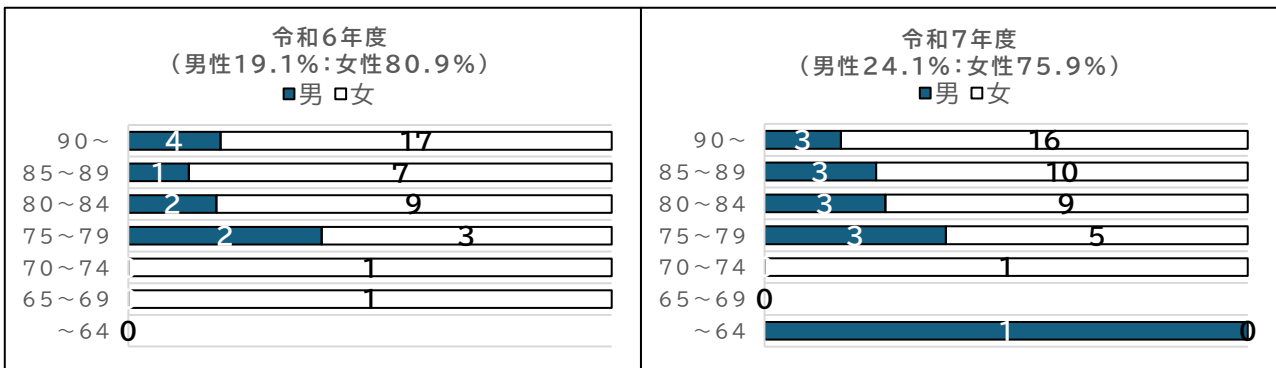
4. 利用者状況

(1)登録利用者

年度	種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	登録者数	55	51	53	48	52	49	50	56	51	50	51	53	619
	新規利用者	5	1	3	3	3	0	4	4	2	1	5	2	33
	体験利用者	1	4	2	5	0	2	2	0	0	2	4	2	24
	利用終了者	2	2	5	2	5	0	2	2	1	6	3	2	32
R6	登録者数	42	42	42	40	42	43	46	49	48	46	47	47	534
	新規利用者	1	1	0	2	2	3	3	6	1	1	4	5	29
	利用終了者	2	0	1	1	1	2	3	1	2	2	1	1	17

今年度より、新規利用者獲得およびサービス内容の理解促進を目的として、体験利用料の無料化を実施した。無料化したことでケアマネジャーからは、体験利用を勧めやすくなったとの声も聞かれた。体験利用者数としては、前年度の 24 名と同人数だったが、利用を検討している本人・家族にとっては安心して利用できる取り組みとして評価を得ている。

(2)利用者年齢構成



(3)町内別(市外含む)・中学校区別登録利用者(令和8年3月31日現在)

○町内別(市外含む)

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
富士崎	2	永国東	1	桜が丘	2	天川	1
永国	3	小松ヶ丘	2	国分町	2	中高津	1
小松	7	永国台	1	下高津	2	千鳥が丘	1
霞ヶ関	6	大岩田	1	滝田	1	荒川沖東	1
小田東	1	佐野子	2	蓮河原	1	中村南	2
烏山	2	桜町	1	真鍋	1	上高津	1
右糺	2	中央	2	若松町	1	合計 53	
小岩田西	1	港町	1	東若松町	1		

○中学校区別

地区	一中	二中	三中	四中	五中	六中	都和	新治	市外	合計
者数	9	2	3	26	0	13	0	0	0	53

飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所

1. 居宅介護支援事業所運営体制

特定事業所加算Ⅱを算定し、介護支援専門員5名体制でスタートしたが、1名は昨年5月末に家庭都合で退職予定となっていた為、6月からは4人体制となった。その後2月には2名増員となり、6名体制(主任介護支援専門員3名、介護支援専門員3名)となった。また、介護支援専門員実務研修の実習生1名の受け入れを行った。

2. 居宅介護サービス計画実施状況

<介護プラン>

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	103	100	103	96	96	94	97	100	100	98	98	103	1,188
市外	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	3	3	30
合計	105	102	105	98	98	97	100	103	103	100	101	106	1,218

新規契約はしたものの、サービスに結びつかないケースや短期間で終了してしまうケースが増加傾向。

<介護予防プラン(地域包括支援センター委託)>

包括名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
うらら	18	13	14	17	17	18	17	16	18	17	15	14	194
かんだつ	0	0	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	14

要介護から要支援となる利用者、新規相談の利用者もいたが、サービスを数ヶ月単位で休む利用者があるため、月平均は17.3件となっている。

<居宅サービス契約者介護度別延べ件数・前年度との比較>

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
R6年度	18	111	120	790	225	102	57	34	1,457
R7年度	23	82	103	792	282	87	30	27	1,426

職員の入れ替わりがあった影響で、前年度より、受け入れ人数が減少してしまった。又、昨今の家族の在宅介護ニーズに変化があったのか、介護度が上がると施設入所希望が多く、そのため要介護1の利用者が半数以上を占めており、要介護4・5の利用者が減少傾向となっている。

3. 認定調査

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	1	11	3	3	4	8	8	2	7	9	5	7	68
市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5

昨年よりも14件増加した。2月から介護支援専門員が増員となり、他市町村からの委託も受けることができた。

4. 研修

●合同事例検討会	
6月11日、12月10日	合同事例検討会:包括支援センターうらら・烏山診療所・虹・ネクサス参加(飛羽ノ園)
●その他	
5月15日	ワイズマン説明会(Zoom)
5月19日	土浦・かすみがうら地区会役員会(四中地区公民館)
5月20日	認定調査(Zoom)
6月6日	土浦ケアマネジャー研究会 総会・講演会(四中地区公民館)
6月11日	法人内ケアマネ研修:虐待・BCP・感染症(サポートセンター)
7月12日	霞ヶ浦南岸地区研修会(阿見さわやかセンター)
7月28日	土浦・かすみがうら地区会役員会(Zoom)
8月9日	土浦・かすみがうら地区総会・研修会(あじさい館)
8月26日	居宅管理者業務に関する意見交換会(四中地区公民館)
9月6日	薬剤師とケアマネジャーの連携(つくば市役所)
9月10日	法人内ケアマネ研修:認知症・法令順守プライバシー(サポートセンター)
10月8日	介護支援専門員のための基礎研修(龍ヶ崎保健福祉棟)
10月16日	在宅ケアハラスメント研修会(Zoom)
10月17日	土浦ケアマネジャー研究会(四中地区公民館)
10月25日	介護支援専門員のための基礎研修(龍ヶ崎保健福祉棟)

11月4日	土浦・かすみがうら地区会役員会（二中地区公民館）
11月11日	地域包括支援センターかんだつ研修:BCP(新治地区公民館)
12月2日	地域包括支援センターうらら研修:BCP(Zoom)
12月9日	カイボケ説明会(飛羽ノ園)
12月10日	法人内ケアマネ研修:虐待・BCP・感染症(サポートセンター)
12月11日	実務研修実習受入れ説明会（Zoom）
2月2日	土浦ケアマネジャー研究会・役員会(四中地区公民館)
3月9日	土浦・かすみがうら地区会役員会(Zoom)
3月11日	法人内ケアマネ研修:BCP見直し(飛羽ノ園)
3月12日	介護予防支援ケアマネジメント委託業務事業所説明会(四中地区公民館)
3月24日	福祉用具購入費及び住宅改修費受領委任払い説明会(土浦市役所)

土浦市在宅介護支援センター飛羽ノ園
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業(四中地区担当)

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1)台帳作成	108	(2)緊急通報	13	(3)配食サービス	12

今年度も継続して市や民生委員等からの相談、地域ケアコーディネーターからの同行訪問依頼があった。合計件数は前年度から7件減少した。内訳では、台帳作成や緊急通報システムは殆ど変化がなく、配食サービスが10件減少した。

2. 相談

(方法×続柄集計)

方法		続柄								合計
		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	
業務時間	電話	125	66	27	71	18	17	28	0	352
	来所	1	1	0	0	0	0	3	1	6
	訪問	260	4	15	0	0	1	3	3	286
時間外	電話	5	3	2	0	0	0	2	0	12
	来所	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	訪問	12	1	0	0	0	0	0	0	13
合 計		403	75	44	71	18	18	37	4	670

相談合計数については前年度から40件減少したが、家族や事業所の相談は増加傾向にある。医療や介護等に繋がっても本人を支援するにあたり、関係機関で継続的な情報共有が必要となったためである。

認知症や虚弱者で安否確認の相談が多くみられた。関係機関と連携を密にして本人や家族へアプローチし、医療や施設入所等へ繋ぐことができた。今後も関係機関と情報共有を行い迅速に対応できるよう努めていく。

(相談区分×続柄集計)

相談区分	続柄								合計
	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	
(1)家族の支援	22	20	7	2	3	0	6	0	60
(2)介護保険制度	77	16	2	4	7	0	6	0	112
(3)福祉サービス	137	15	14	52	2	11	22	0	253
(4)保健・医療	230	39	7	3	8	2	16	1	306
(5)経済・住まい	13	2	3	1	1	0	2	0	22
(6)地域の困りごと	3	1	2	0	0	0	2	0	8
(7)その他	279	21	15	3	8	4	10	1	341
(8)二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9)虐待・権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(10)ケアマネジャー支援	0	1	0	0	0	0	2	0	3
(11)認知症関係	44	8	3	1	5	1	6	0	68
合 計	805	123	53	66	34	18	72	2	1,173

前年度と比較し、特に(3)福祉サービス、(7)その他の増加がみられる。(3)は家族が遠方等で見守りが難しいことから相談が増えている。また必要な時のために聞いておきたいと情報収集での相談も多くみられた。(7)は認知症や虚弱等で継続的な関わりが増えたことが要因。家族や事業所との連携を密に行ったため相談件数が2倍の増加となった。

3. 会議出席回数等

件 名	件 数(回)
(1)ふれあい調整会議	6
(2)スクラムネット会議	12
(3)その他(在支連絡調整会議等)	29
合 計	47

在支連絡調整会議では市と意見交換する場が設けられ各業務の見直しを行い簡素化することができた。

民児協定例会に出席することで民生委員との情報共有ができた。また、情報提供があり要援護者の早期発見に繋がった。今年度は3年に1回の一斉改選があり、新任の民生委員が増えたため関係構築に努めていく。

スクラムネット会議やふれあい調整会議では多職種の様々な方々から意見を頂き支援方法の参考にすることができた。また、支援困難で長期化するケースについてケア会議で検討し、家族や関係機関と連携し医療へ繋ぐことができた。

4. 動向と考察

身寄りがなく地域との繋がりが希薄化しているケースが増えている。地域コミュニティや緊急時の対応が今後の課題と考えられる。

介護サービス等の支援がないと生活が困難な状況にあるが、本人の利用意向がなく生活状況が悪化してしまうケースが多々ある為、今後も関係者と連携をしながらアプローチをしていく。また、介護サービス等だけでは補えない課題も増えていることから社会資源の情報収集や家族・支援者の関わりも重要と感じられる。

サービス等の必要性を感じるが本人が支援を望まないケースや訪問を拒否されることもあり、介入が難しいと感じている。緊急性が高い状況もあり、関係機関で情報共有を行い、迅速に対応できるよう努めていく。

令和7年度

事業報告

社会福祉法人 祥風会

特養養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

憩いの里

理事長 羽鳥 圭一

施設長 和田 宏一

〒300-4117 土浦市高岡2315

T E L 029-829-3030

F A X 029-829-3031

U R L <https://showfukai.com>

E-Ma I i k o i n o s a t o @ s h o w f u k a i . c o m

特別養護老人ホーム憩いの里
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

【1】運営(運営方針に対する報告)

1. 介護福祉施設

尊厳ある個々の「当たり前の生活」の実現を目指して、運営方針に掲げた6つの視点を元にそれぞれの専門職が連携し工夫しながら取り組んできた1年であった。納涼祭は昨今の猛暑の関係もあり、今年度は秋に「憩い祭り」として開催した。津軽三味線、踊りのボランティアを招いて家族と一緒に楽しむことができた。クリスマス会については感染症の流行が例年よりも早く、感染拡大が懸念されるため家族を呼ばずに施設内での取り組みとなった。家族の参加はなくとも楽しめるように職員一同取り組みを行い楽しむことができた。

掲げた視点のうち「個別ケアの提供」については、特に力を入れ取り組み一定の満足は得られたと考えている。積極的に個々の好みの食事イベントを行ったり、今までの趣味を行ったりできるような取り組みを行ってきた。しかし、本当の意味での個々に必要なケア、望んでいるケアを行えているかという点、施設の日課の流れでケアをしていることが多いのも現状である。少しでも入居者に寄り添い、今までの生活、営んできた生活歴を大切にしたいものをケアに落とし込み、活かせるようにしていきたいと考えている。

<重点目標>

① 入居者を知る

数年引き続いての重点目標となっているが、ツールに関しては作成が進んでおらず、個々での聴き取りを中心に行っている。現状としてはなかなか家族からの聞き取りを行えておらず、日々の業務に追われてしまっている。面会時などに家族とのコミュニケーションを図るとともに入居者ともコミュニケーションを図っていき「入居者を知る」を行っていきたいと考えている。

② ノーリフティングケアの推進

今年度は委員会のメンバーにノーリフティングケアの研修に参加してもらい、より一層進めていくための体制づくりを行ってきたが、なかなか委員会の召集や普段のケアに落とし込むことができず、学んだ内容を共有する事が出来なかった。来年度も引き続き委員会はあるので、より一層進んでいけるようにしていきたいと考えている。

2. 短期入居・介護予防短期入居生活介護

一日平均利用者数 9.2 人と年間通して高い水準の稼働率を維持することができた。サービス内容では、余暇時間の取り組みに力を入れ、楽しめる時間や休める時間など工夫しながらサービス提供をすることができた。「また行きたい」と感じていただけるように今後も、利用者に合った余暇時間の提供に力を入れていきたい。課題点として、荷物管理の不備(紛失)が数件あった。業務内容を見直し、信頼関係が崩れないよう対応をしていきたい。

3. 稼働率報告

種別	入居		ショートステイ	
	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
年間ベッド数(最大)	25,550	25,550	3,650	3,650
延べ人数	24,215	23,807	2,932	3,360
稼働率(%)	94.8	93.2	80.3	92.1

【2】事業実績(主に数値的な報告)

1. 入居者推移・実数

(1) 入退居者数

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
入居	4	4	2	3	2	5	2	1	1	2	0	1	27	18
退居	3	3	1	1	2	2	1	4	0	2	1	2	21	27

(2) 入居・退居経路

入居経路		退居経路	
居宅(小規模多機能含む)	20	永眠(施設内)	18
病院	0	永眠(搬送先)	2
老健	4	入院後退院困難	1
有料老人ホーム	2	居宅	0
グループホーム	1	特養	0
合計	27	合計	21
前年度計	18	前年度計	27

(3)要介護度別 ※令和8年3月31日現在

要介護度	性別		人数計(名)	前年度人数(名)	前年度増減
	男性	女性			
1	0	1	1	1	±0
2	2	4	6	7	△1
3	6	24	30	26	+4
4	7	16	23	19	+4
5	0	6	6	7	△1
合計	15	51	66	60	+6
平均要介護度	3.3	3.5	3.4	3.4	±0

(4)年齢構成 ※令和8年3月31日現在

年齢(歳)		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
特養(名)	男性	0	0	0	1	3	4	7	15
	女性	1	0	0	4	5	15	26	51
合計		1	0	0	5	8	19	33	66
前年度		0	0	1	4	4	20	31	60

(5)入居者要介護度別利用状況

①特養

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数 (延人数)	0	8(240)	29(780)	20(553)	7(210)	64(1,783)
5		0	8(248)	30(843)	19(564)	8(229)	65(1,884)
6		0	8(240)	30(867)	19(570)	7(210)	64(1,887)
7		0	7(217)	33(947)	19(589)	7(217)	66(1,970)
8		0	7(217)	35(1,052)	18(558)	7(196)	67(2,023)
9		0	7(210)	37(1,052)	20(571)	6(156)	70(1,989)
10		0	6(186)	36(1,071)	23(700)	5(155)	70(2,112)
11		0	6(180)	35(1,031)	23(676)	6(175)	70(2,062)
12		0	6(186)	35(1,064)	21(651)	6(155)	68(2,056)
1		0	6(186)	35(1,085)	21(627)	7(202)	69(2,100)
2		0	6(168)	34(952)	21(588)	6(179)	67(1,887)
3		1(31)	6(186)	32(959)	23(692)	6(186)	68(2,054)
R7	1(31)	81(2,464)	401(11,703)	247(7,339)	78(2,270)	808(23,807)	
R6	12(365)	70(2,104)	391(11,586)	265(7,674)	87(2,491)	825(24,220)	

《考察》

退所者が出る前から状況調査を行い迅速な対応を心掛けているが、待機者の減少に伴いなかなか入居が決まらない現状がある。ケアマネ、病院等の連携を取り、入居者の確保に努めている。現在待機している方でロングショートステイ利用の方が多く、外泊が出来ない事で入居に踏み切れない方が多い。感染対策と家族ニーズに合わせて柔軟性を持ち、バランス良い対応をしていきたいと考えている。

(6)短期入居生活介護・介護予防短期入居生活介護

月	要介護度	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4	実人数 (延人数)	0	0	0	4(30)	12(177)	3(44)	0	19(251)
5		0	0	1(17)	6(56)	11(186)	3(45)	0	21(304)
6		0	0	3(14)	3(22)	11(188)	4(51)	0	21(275)
7		0	0	3(12)	3(24)	9(138)	4(68)	0	19(242)
8		0	0	3(16)	3(26)	11(184)	5(65)	1(24)	23(315)
9		0	0	2(11)	5(55)	12(160)	3(62)	1(24)	23(312)
10		0	0	3(15)	7(41)	10(135)	5(89)	0	25(280)
11		0	1(2)	4(17)	7(43)	9(129)	4(60)	0	25(251)
12		0	0	2(14)	7(38)	12(128)	4(94)	0	25(274)
1		0	0	1(3)	9(57)	11(145)	4(81)	0	25(286)
2		0	0	3(17)	9(66)	9(137)	3(47)	0	24(267)
3		1(4)	0	1(8)	8(58)	11(176)	4(57)	0	25(303)
R7	1(4)	1(2)	26(144)	71(516)	128(1,883)	46(763)	2(48)	275(3,360)	
R6	0(0)	1(2)	27(140)	58(421)	89(1,293)	66(774)	18(310)	259(2,940)	

《考察》

令和7年度は空床利用も含めると90%を超える実績となった。また入居に踏み切れないロングステイ利用者がベッドを占有している為、新規利用の足止めとなっている。しかし入居枠の空床ベッドを利用しつつ柔軟な受入れ体制を展開し、緊急度を踏まえ柔軟な対応ができた。ロング利用者については今後期限を設け、家族ケアマネジャーと相談しベッドコントロールを行いつつ、新規依頼に対応したい。

2. 医務

(1)MMSE 実施状況 ※30 点満点中 23 点以下は認知症の可能性が高いと言われている(診断結果は参考)

年齢(歳)	性別	点 数							合計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	0	0	0	0	1
65~69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	1	0	0	0	2	0	1	4
80~84	男	0	0	0	0	2	0	1	3
	女	0	1	0	0	2	0	2	5
85~89	男	0	1	1	1	0	0	1	4
	女	1	4	1	4	5	2	0	17
90~94	男	0	0	1	1	2	2	0	6
	女	1	1	5	3	5	1	0	16
95~	男	0	1	0	0	0	0	0	1
	女	1	4	0	0	1	5	1	12
合計		4	12	9	9	20	10	6	70

(2)日常生活状況(ADL の状況)※令和 7 年 3 月 31 日現在

①あじさい

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7 年度	6	1	0	2	5	0	1	6	0	3	4	0
R6 年度	7	1	0	3	5	0	2	4	2	2	4	2
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7 年度	3	4	0	7	0	0	2	1	0	3	1	0
R6 年度	8	0	0	8	0	0	3	0	0	5	0	0

②りんどう

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7 年度	5	2	2	2	5	2	1	6	2	2	5	2
R6 年度	8	1	1	1	6	3	1	6	3	1	6	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7 年度	1	5	3	7	2	0	1	1	0	3	1	3
R6 年度	2	6	2	9	0	1	1	0	0	2	0	7

③つつじ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7 年度	6	1	1	4	2	2	0	6	2	1	5	2
R6 年度	7	1	2	3	3	4	0	9	1	2	5	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7 年度	5	2	1	7	0	1	1	0	1	2	2	1
R6 年度	6	1	3	7	1	2	4	0	1	2	0	3

④カンナ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7 年度	7	3	0	3	4	3	2	6	2	2	6	2
R6 年度	5	0	2	2	3	2	2	3	2	2	3	2
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7 年度	5	1	4	6	2	2	3	0	0	3	1	3
R6 年度	3	0	4	3	2	2	2	0	0	1	0	4

⑤ひまわり

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7年度	7	1	2	4	3	3	2	5	3	5	2	3
R6年度	7	0	2	4	3	2	3	4	2	3	4	2
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7年度	5	2	3	6	1	3	2	0	0	5	0	3
R6年度	5	2	2	5	2	2	3	0	0	4	0	2

⑥ばら

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7年度	7	3	0	3	6	1	0	9	1	3	6	1
R6年度	7	0	1	2	5	1	0	7	1	3	4	1
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7年度	4	6	1	5	4	1	2	1	0	1	5	1
R6年度	4	3	1	7	0	1	3	0	0	3	1	1

⑦すいせん

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7年度	6	2	2	4	4	2	0	8	2		8	2
R6年度	4	2	1	2	4	1	0	6	1	0	6	1
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7年度	5	3	2	5	3	2	3	0	0	2	3	2
R6年度	2	4	1	2	4	1	2	0	0	2	2	1

⑧コスモス

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7年度	8	0	1	0	8	1	0	8	1	2	5	2
R6年度	7	1	1	2	6	1	0	7	2	2	4	3
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R7年度	4	3	2	6	2	1	2	1	0	3	1	2
R6年度	4	2	3	5	3	1	3	1	0	1	2	1

(3)処置・看護記録集計(ショートステイ含む)

処置名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
点眼	750	775	750	775	775	750	775	750	775	775	700	775	9,125
処置	153	133	149	152	181	153	146	187	118	232	186	172	1,962
軟膏・湿布	2,430	2,510	2,430	2,250	2,560	2,320	2,640	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	30,390
テープ	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	65	62	739
救急対応	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	7
看取り	1	2	1	0	1	2	1	4	0	1	1	1	15

(4)他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	リウマチ	総合診	その他
延人数	28	16	22	6	0	0	34
受診科名	外科	循環器	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	消化器	合計
延人数	0	8	302	8	0	6	430

(5)入浴実施状況

①あじさい

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個浴	88	87	75	83	90	94	88	98	95	98	96	97	1,089
特浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清拭	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	88	88	75	83	91	94	88	98	95	98	96	97	1,091

②りんどう

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個浴	66	63	56	63	64	63	63	61	66	63	66	64	758
特浴	22	26	27	27	23	22	27	24	18	18	14	18	266
清拭	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	88	90	83	90	87	85	90	85	84	81	80	82	1,025

③つつじ

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個浴	79	74	65	68	71	61	63	58	72	66	51	60	788
特浴	7	15	18	18	17	20	20	18	18	18	8	9	186
清拭	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
合計	86	89	83	86	88	81	86	76	90	84	59	69	977

④カンナ

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個浴	31	50	53	59	78	78	81	76	78	80	64	80	737
特浴	6	1	1	7	7	9	7	6	9	12	15	6	86
清拭	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4
合計	37	51	55	56	85	87	89	82	77	92	80	86	827

⑤ひまわり

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個浴	59	64	55	68	59	52	66	54	62	69	56	61	725
特浴	16	25	27	22	25	30	23	24	27	24	24	27	294
清拭	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	75	90	74	90	84	82	89	78	89	93	80	88	1022

⑥ばら

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個浴	64	72	72	72	69	70	91	80	83	83	72	78	906
特浴	8	9	9	9	4	0	0	0	0	1	8	9	57
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	72	81	81	81	73	70	91	80	83	84	80	87	963

⑦すいせん

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個浴	57	64	64	74	69	79	79	66	75	81	72	69	849
特浴	12	9	12	9	5	8	9	15	9	9	8	14	119
清拭	0	1	0	0	13	1	1	0	0	0	0	1	17
合計	69	74	76	83	87	88	89	81	84	90	80	84	985

⑧コスモス

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個浴	62	72	67	63	73	77	82	67	64	69	66	68	830
特浴	5	8	9	9	5	8	8	14	9	8	8	6	97
清拭	1	0	1	0	1	2	3	0	0	1	0	1	11
合計	68	80	77	75	79	87	93	81	73	77	74	75	939

3. 給食

(1)令和7年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	I礼キ	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	μgRE	mg	mg	mg	g
目標値	1,500	55.0	40.5	550	9.0	520	0.8	0.8	85	8.0
4月	1495	55.5	41.2	639	6.8	613	0.71	0.66	64	7.3
5月	1497	55.2	42.2	629	6.6	568	0.73	0.65	65	7.3
6月	1491	56.5	39.6	602	6.4	574	0.78	0.62	69	7.2
7月	1488	56.8	40.4	623	6.5	597	0.74	0.68	66	7.2
8月	1461	55.4	37.7	624	6.4	562	0.78	0.63	66	7.1
9月	1446	56.0	36.9	636	6.7	542	0.69	0.62	58	7.1
10月	1455	54.4	38.2	598	6.3	530	0.72	0.63	64	7.0
11月	1475	55.0	39.2	631	6.6	557	0.71	0.63	64	7.1
12月	1475	55.6	40.0	624	6.6	524	0.79	0.64	72	7.2
1月	1456	55.8	37.0	636	6.5	516	0.72	0.63	63	7.1
2月	1450	54.5	36.7	634	6.7	561	0.69	0.62	64	7.2
3月	1452	54.9	36.7	619	6.5	555	0.71	0.6	64	7.1

(2)食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	23,540	23,496	23,571	70,607
ショートステイ	2,808	3,288	2,815	8,911
デイサービス	0	5,391	0	5,391
職員	0	4,334	0	4,334
来客	0	0	0	0
実習生	0	55	0	55
延人数	26,348	36,564	26,386	89,298

②選択食

日時	A	B
6/23	釜揚げしらす丼	豚とろろ丼

③行事食

1	日時	4/14~4/16	行事名	おやつバイキング
	ロールケーキ、プリンアラモード、桜杏仁、和菓子風ムース、ピザマルゲリータ、チキンサンド			
2	日時	4/29	行事名	お花見弁当
	そら豆ご飯、若竹汁、鯖の照り焼き、エビフライ、ホタテフライ、菜の花の白和え、春野菜の炊合せ、香物、フルーツ			
3	日時	5/5	行事名	子どもの日
	鶏五目ちらし、清汁、天ぶら盛合せ、やわらか杏仁~オレンジソース~ おやつ:鯉のぼりパンケーキ			
4	日時	5/13~5/15	行事名	新茶イベント
	新茶			
5	日時		行事名	世界のメニュー
	ビビンバ丼、中華スープ、白菜の梅ドレ和え、フルーツ			
6	日時	6/10	行事名	梅雨を乗り切るメニュー
	天丼(えび、かぼちゃ、茄子、ピーマン)、清汁、大根の酢の物、オレンジ おやつ:紫陽花ゼリー			
7	日時	7/7	行事名	七夕
	七夕そうめん、かき揚げ、夏野菜ソテー、オレンジ おやつ:天の川ようかん			
8	日時	7/25	行事名	夏のスタミナメニュー
	夏野菜のキーマカレー丼、コンソメスープ、花野菜のチーズサラダ、オレンジムース			
11	日時	7/31	行事名	土用の丑の日
	ひつまぶし、清汁、香味奴、抹茶ゼリー			
12	日時	8/5~8/7	行事名	アイスイベント
	アイスクリーム2種			
13	日時	8/13	行事名	お盆
	赤飯、清汁、鶏肉の磯辺焼き、きんぴらごぼう、いちごヨーグルト			
14	日時	9/7	行事名	敬老祝賀会
	赤飯、清汁、天ぶら盛り合わせ、鶏肉のゆず風味焼き、刺身2点盛り、炊き合わせ、五色なます、かぼちゃババロア			
15	日時	9/9	行事名	重陽の節句
	栗ご飯、清汁、赤魚の粕漬焼き、菜の花のお浸し、梨			
16	日時	9/15	行事名	敬老の日
	ちらし寿司、清汁、厚揚げの野菜あんかけ、桃ムース おやつ:モンブラン風ケーキ			
17	日時	10/6	行事名	十五夜
	月見そば、竹輪の磯辺揚げ、かぼちゃサラダ、いちごムース			
18	日時	10/22~10/24	行事名	おやつバイキング
	クレープ、とと焼き、はちみつレモンゼリー、にんじんゼリー、きのこのキッシュ、中華ちまき			
20	日時	10/30	行事名	ハロウィン
	チキンピラフ、コンソメスープ、ミートボールシチュー、ミモザサラダ、チョコプリン おやつ:ハロウィンプリン			
21	日時	11/6~11/8	行事名	焼き芋
	焼き芋			
22	日時	11/24	行事名	秋の行楽弁当
	きのこご飯、清汁、エビフライ、ホタテフライ、鮭の塩麹焼き、牛肉と根菜の甘辛炒め、厚焼卵、香物、柿			
23	日時	12/14	行事名	クリスマス会
	トマトチーズのリゾット、コンソメスープ、もみの木ハンバーグ、エビとアボカドの彩サラダ、フルーツヨーグルト おやつ:クリスマスケーキ			
24	日時	12/21	行事名	冬至
	ほうとう風うどん、肉団子の甘辛煮、かぶの柚子漬、いちごムース			

25	日時	12/24	行事名	クリスマス1
	チキンピラフ、コンソメスープ、エビフライ、ラタトゥイユ、いちごのレアチーズ おやつ:クリスマスケーキ			
26	日時	12/25	行事名	クリスマス2
	カレーピラフ、コンソメスープ、鶏肉のパン粉焼き、紫キャベツとエビのごまドレサラダ、クリスマスプリン おやつ:クリスマスクレープ			
27	日時	12/31	行事名	年越しそば
	年越しそば、エビの天ぷら、白菜のポン酢マヨ和え、オレンジムース			
28	日時	1/1	行事名	おせち
	赤飯、清汁、ブリの照り焼き、おせち盛合せ、みかん			
29	日時	1/2	行事名	お正月メニュー
	海鮮ちらし、みそ汁、筑前煮、抹茶ゼリーの黒蜜かけ おやつ:紅白ようかん			
30	日時	1/5	行事名	お正月メニュー
	稲荷寿司、清汁、天ぷら盛り合わせ、春菊と湯葉のポン酢ジュレ和え、みかん			
31	日時	1/7	行事名	七草粥
	七草粥、みそ汁、つみれと大根の煮物、うずら豆			
32	日時	2/3	行事名	節分
	五目ちらし、鬼除け汁、鰯のゆず味噌煮、いちごゼリー			
33	日時	2/12	行事名	世界のメニュー
	ロコモコ丼、コンソメスープ、いんげんのわさびマヨ和え、ぶどうゼリー			
34	日時	2/25	行事名	天皇誕生日
	握り寿司、清汁、天ぷら盛り合わせ、茶碗蒸し			
35	日時	3/3	行事名	ひなまつり
	鮭ちらし寿司、清汁、花型ハンバーグ、オレンジ			
36	日時	3/23	行事名	洋食イベント
	オムライス、コンソメスープ、ハンバーグ、エビフライ、スパゲティサラダ、いちごミルクプリン			

(3) 栄養ケアマネジメント

① 栄養ケアカンファレンス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(名)	16	19	31	17	21	32	18	19	33	17	16	32	271

今年度は、褥瘡発生者に対し積極的に栄養補助食品を取り入れ、褥瘡の治癒に繋げることができた。また、外部研修で学んだ内容を栄養ケアに活かすことができた。次年度も多職種と連携し、より充実した栄養ケアを提供していきたい。

4. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

① ケアカンファレンス実施人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居(名)	8	11	11	15	18	16	11	15	10	13	18	7	153

② 認定調査の実施人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(名)	2	1	2	5	2	2	2	2	4	4	1	2	29

③ 区分変更申請

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(名)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

令和7年度は定期的なカンファレンス・ケアプランの見直し、委託業務である認定調査を行った。次年度は、入居者とコミュニケーションを多く取り、信頼関係を今まで以上に築き、一人々の状態の理解を深め、今まで以上に支援を行っていくように努めていく。

5. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

① 委員会

1	入所検討委員会	感染流行期は感染対策の為に開催することはできなかったが、その他の月については開催することができた。入居申込者に関する聴き取りが不十分なところがあったので不備がないようにしたい。また待機者についての連絡が出来ていない現状があるので今年度は定期的に連絡をしていけるようにしたい。
2	防災対策委員会	感染症対策の兼ね合いもあったが地震想定・火災想定での避難訓練を行った。消防立ち合い訓練では、消火器を使用した訓練を実施。有事の際にとっさの対応が出来るよう学べることが出来た。災害対策の方法も年々更新されているので最新の方法を施設の状況を折り合わせた防災対策にアップデートにしたい。

3	権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化委員会	勉強会を2回開催し虐待防止、身体拘束適正化に向けての知識を深めることにつながった。定期で行っている委員会において、権利擁護や虐待防止、身体拘束等つながる困りごとについて他職種で検討し、委員により各ユニットへ伝達を行い、より良いケアにつながるよう努めた。
4	安全管理委員会	委員会の定期的な開催、勉強会を行い事故の予防に努めてきた。新しい担当者を配置した事で新しい視点からの事故防止へのアプローチができ、安心安全な生活の提供を行えるようになっていきたい。
5	感染予防委員会(安全衛生委員会)	定期開催と臨時開催で時期に即した感染予防の対応を進めることが出来た。特に面会の開催に関しては、感染症対策をして根拠をはっきりとさせた対応へと変換できた。併せて、感染症発生時の基本対策の研修を開催することで職員のスキルアップにつなげることが出来た。
6	職場定着委員会	職員交流のイベントの開催を小規模ながら開催できたが、参加率良い物とは言えなかった。職員定着に向けて職場内の環境整備や交流を深めるなどの企画を行っていきけるようにしていきたい。
7	給食委員会	今年度も提供している食事について、委託業者も交えて意見交換することができた。改善できる点は即時対応し、次年度も入居者・職員にさらに喜んで頂けるような食事を提供できるように努める。
8	褥瘡予防委員会	褥瘡発生率昨年度 3.33%であったが今年度は 4.47%(持ち込み含まず)であった。その他老人特有の皮膚状態や保湿の必要性をアナウンスした結果、手厚いケアの提供で正常な皮膚再生に至る入居者も出てきた。今後も褥瘡予防に努めていきたい。
9	物品購入委員会	オムツ類、トイレトーパー、ペーパータオル、洗濯洗剤が不足してしまう事があった。在庫確認をしっかりと行うとともに、普段から予測しながら発注を行う事で不足が出ないようにしていく。
10	ノーリフティング委員会	ノーリフティングケアを行う他施設へ見学予定があったが、施設内感染対策時期と重なり実現出来なかった。腰痛予防指導者研修に参加し、研修内容を全体会議時に報告、また各ユニットへこれだけ体操を配布した。しかしノーリフティングケアの定着につながらず、また委員会活動についても積極的に行う事が出来なかった。次年度は推進に努めていきたい。
11	記録委員会	積極的な委員会活動は難しかったが、業務を円滑に進められるように記録方法の見直しを進められた。特にフィズマンの入力に関しては検討できる内容が多いため継続的に意見を収集しながらより効率的かつ正確な記録を残せるようにしていきたい。

(2) 全体行事報告

月	日	内容	参加者			
			利用者	職員	家族	合計
9	7	敬老祝賀会	75	20	45	140
10	5	憩い祭り	79	24	41	144
12	4	クリスマス会	73	24		97
1	3	正月式	73	17		90

(3) ユニット行事

① あじさい

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/8	花の苗植え	5	2	0	7	11/6	焼いも	8	2	0	10
5/9	母の日(マニキュア)	5	2	0	7	12/4	忘年会(カラオケ)	7	2	0	9
6/22	カラオケ大会	6	2	0	8	1/1	初詣(憩い神社)	6	2	0	8
7/28	ジャガイモ餅	8	2	0	10	2/3	豆まき(鬼さんパタパタ)	8	3	0	11
8/24	ボウリング	8	2	0	10	3/29	桜ドライブ	4	2	0	6
9/3	じゃがバター	9	2	0	11						

② りんどう

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/8	花の苗植え	9	2	0	11	11/6	焼いも	10	2	0	12
5/9	母の日(マニキュア)	5	2	0	7	12/4	忘年会(カラオケ)	10	2	0	12
6/22	カラオケ大会	10	2	0	12	1/1	初詣(憩い神社)	10	2	0	12
7/28	ジャガイモ餅	10	2	0	12	2/3	豆まき(鬼さんパタパタ)	10	3	0	13
8/24	ボウリング	8	2	0	10	3/29	桜ドライブ	5	2	0	7

③ つつじ

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/16	春のおやつ作り	15	4	0	19	5/16	八つ橋作り	10	3	0	13
6/25	出前食を味わおう	10	3	0	13	7/31	冷たいデザート	10	3	0	13
8/27	スイカ割り	10	3	0	13	9/27	パンケーキ作り	9	2	0	11
10/14	秋のミニ運動会	9	3	0	12	11/29	体操とボール遊び	9	3	0	12
12/28	正月飾り作り	6	3	0	9	1/30	1月生まれの誕生日会	4	3	0	7
2/3	節分の豆まき	4	2	0	6	3/8	春のミニ運動会	8	2	0	10

④ カンナ

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
5/19	誕生会	6	3	0	9	9/27	栗ご飯	10	2	0	12
6/28	誕生会	6	2	0	8	10/21	秋の味覚祭	10	3	0	13
7/20	流しそうめん	8	3	0	11	12/25	忘年会	10	2	0	12
8/23	お茶会	10	2	0	12						

⑤ ひまわり

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
5/18	誕生会	10	2	0	12	11/23	さつま芋スイーツ	10	3	0	13
6/22	誕生会	10	2	0	12	1/30	どら焼き・鈴カステラ	10	4	0	14
7/18	すいか割り大会	10	3	0	13	2/3	節分	10	2	0	12
8/17	風鈴作り	10	3	0	13	2/28	誕生会	10	3	0	13
9/17	ユニット調理(にゅう麺)	9	3	0	12	3/26	桜飾り	10	2	0	12
10/26	誕生会	9	1	0	10						

⑥ ばら

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/27	お茶会	9	2	0	11	10/22	ホットケーキ	9	3	0	12
5/22	食事会(カップ麺)	9	3	0	12	11/19	焼きうどん作り	10	3	0	13
6/26	お好み焼き作り	9	3	0	12	12/21	餃子作り	9	3	0	12
7/23	甘味	9	2	0	11	1/20	甘味処	9	2	0	11
8/29	パフェづくり	8	3	0	11	2/25	ハンバーグ作り	10	3	0	13
9/28	食事会	9	3	0	12	3/23	しっとりチーズケーキ風	10	3	0	13

⑦ すいせん

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/27	桜餅作り	8	1	0	9	10/30	秋のお茶会	10	2	0	12
5/11	誕生会	8	2	0	10	11/30	誕生会	10	2	0	12
6/26	ほっともつと弁当会	9	2	0	11	12/15	ふかし芋	9	2	0	11
7/31	選べるアイスクリーム	10	2	0	12	1/29	豆腐餅お汁粉	10	2	0	12
8/15	誕生会	10	2	0	12	2/14	バレンタインイベント	10	2	0	12
9/29	秋のお茶会	10	1	0	11	3/29	昼食レク お刺身	10	2	0	12

⑧ コスモス

日付	行事名	入居者	職員	家族	計	日付	行事名	入居者	職員	家族	計
4/27	桜餅	9	0	0	9	10/22	茶巾絞り	9	0	0	9
5/18	誕生日会	9	0	0	9	11/29	焼き芋	8	0	0	8
5/25	金魚ゼリー	9	0	0	9	12/16	ゆず湯	9	0	0	9
6/26	アイスバイキング	9	0	0	9	1/24	ぜんざい	9	0	0	9
7/19	季節の飾りつけ	8	0	0	8	2/24	どら焼き	9	0	0	9
8/31	アイスバイキング	10	0	0	10	3/30	お菓子つかみ取り	9	0	0	9
9/28	あんみつ作り	10	0	0	10						

(4) ユニット費

ユニット名	月平均額	年間累計	ユニット名	月平均額	年間累計
あじさい	7,309 円	87,709 円	ひまわり	9,424 円	113,099 円
りんどう	7,254 円	87,056 円	ばら	8,150 円	97,801 円
つつじ	7,528 円	90,338 円	すいせん	9,939 円	119,272 円
カンナ	4,706 円	56,476 円	コスモス	8,390 円	100,676 円

- ・あじさい 教養娯楽費の有効活用に着目し、利用者のニーズに応えることができた。
- ・りんどう 教養娯楽費やイベントの活性化の為に工夫を行い、有効活用することができた。
- ・つつじ 行事の装飾品や備品費などより清掃用具やケアで必要な消耗品の購入比率が高くなってしまった。
- ・カンナ 季節の装飾品や飲み物の充実。また、清潔の維持に費やし生活の質の向上に有効に使用できた。
- ・ひまわり 飲み物の種類を増やし食事の時間をより楽しんで頂いた。またレク用品を充実させることで、利用者様と一緒にレクの実施や季節の飾りつけ作成などを行った。
- ・ばら 装飾品を購入し季節感を感じられるような壁飾りを作成。また、飲み物の種類を増やし気分転換していただけるよう使用した。
- ・すいせん 毎日のおやつの中には、コーヒーや紅茶他、種類多く用意し好評であった。ユニット内の環境美化や生活用品、ケア用品などに費やした。
- ・コスモス ユニット内の飾りつけや、嗜好に合わせた紅茶やコーヒー、甘味飲料などご利用者に喜んでいただけるような環境作りに費やした。

6. 研修

(1)内部研修報告(施設内勉強会)

実施日	内容	参加人数(名)
4/11	認知症基礎研修	37
5/12	BCP(災害)	31
6/11	虐待防止・身体拘束廃止・権利擁護	29
6/1～6/30	感染症対策(食中毒予防)	63
7/1～8/31	事故防止①	39
7/11	歯科講話①	30
9/11	歯科講話②	32
10/14	BCP(災害)	30
11/11	虐待防止・身体拘束廃止・権利擁護	20
11/1～12/31	感染症予防(スタンダードプリコーション)	62
1/1～2/28	事故防止②	44
合計		417

(2)外部機関研修

研修名	開催時期	職種	研修内容	人数	オンライン
茨城県認知症介護実践者研修	5/20～7/25	CW	認知症実践者	1	0
甲種防火管理新規講習	8/6・8/7	CW	防火管理	1	0
腰痛予防指導者	8/4	CW	腰痛予防	1	0
国際福祉機器展	10/8	CW	最新機器の見学・体験	3	0
生産性向上普及推進セミナー	10/23	施設長・CW	効果的なテクノロジー選定と活用	2	0
民間社会福祉施設協議会	12/10	CW・NS	施設職員の接遇マナー	2	0
給食研究会ブロック合同研修会	10/30	管理栄養士	高齢者の摂食嚥下について	1	0
施設長 管理者研修	10/27	施設長	人材定着の方策	1	0
給食担当職員研修	2/16	管理栄養士	栄養マネジメントの実務と災害時の食事	1	0
ICT	2/24	CW	生活の質の向上に向けて	5	0
メンタルヘルス研修会	3/12	CW	支える人がまず整う	4	0
合計				22	0

現状に即した研修に参加することが出来た。研修内容も活かして導入する備品を選定したり、日々のケアに活かせたりするよう取り組むことも出来た。

7. 実習生受入れ

学校別集計(デイサービスを含む)

アール医療福祉専門学校	介護福祉学科	令和7年5月26日～7月18日	3名
アール医療福祉専門学校	看護学科	令和7年10月～10月30日	5名
筑波大学	介護体験等	年度内	11名
茨城大学	介護体験等	年度内	2名
津田塾	介護等体験等	年度内	1名
流通経済大	介護等体験	年度内	1名

8. ボランティアの受け入れ

前年度から引き続き介護相談員の受け入れを再開しているが、12月の感染症流行期に入ったタイミングで中止している。来年度も引き続き受け入れを行ってきたい。

ボランティアについては憩い祭りで「津軽三味線 福静会様」、「むらさきの会様」の受け入れを行っているがそれ以外では目立って受けてはいない。感染症流行期は慎重にならざるを得ないが、それ以外については積極的な受け入れが出来るようにしていきたい。

デイサービス憩いの里
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 30 名)

1. 運営

令和7年度、平均利用者数は18.5名となり、前年度平均19.9名と比べ1.4名減となった。利用者数の動向として、上半期は施設入居等に伴う終了者等が続いた影響により前年比3.5名減、下半期からは体験利用等を窓口として新規獲得で巻き返したが、前年比1.4名という結果であった。

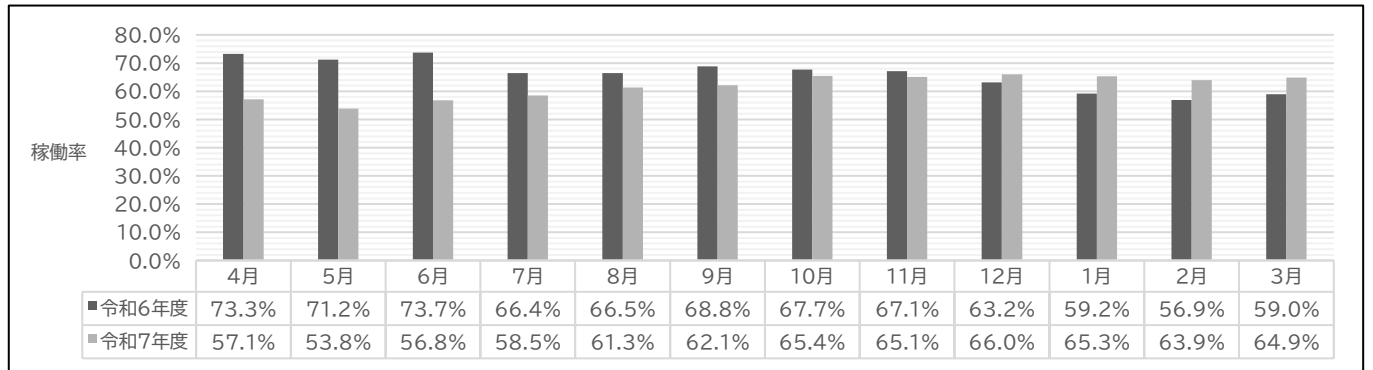
一年を振り返り、利用者、家族の希望に沿った対応(午前利用及び短時間利用)で受入れや、居宅介護事業所への訪問情報提供などの営業活動を行った。ケアマネジャーへは利用者の体験利用を促進し、初回利用のハードルを下げ、間口を広げる事で新規獲得へ繋がった。また法人内保育園との交流では、敬老週間に園児からのビデオメッセージをいただき、卒園時にはデイサービスから贈り物を渡すなど、世代間のつながりを大切にしたい取り組みを実施。利用者満足と地域貢献へ繋がるサービスの質向上と事業所間連携強化に努めた。継続して利用者・家族とのコミュニケーションを大切にする事で、個々の思いや生活課題を抽出する事ができ、年度の事業目標をかたちにできた一年となった。

その他、介護等体験実習生や定期ボランティアの導入で地域に開かれた運営を実施できた。

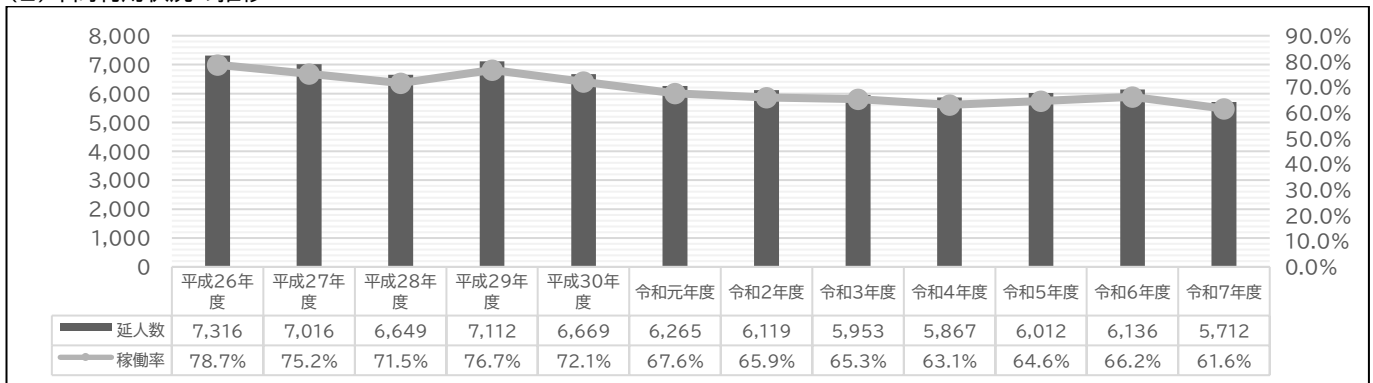
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数(日)	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	26	309
実人数(名)	56	54	56	55	60	60	63	61	63	59	59	59	705
延人数(名)	445	436	426	474	478	484	530	488	515	470	460	506	5,712

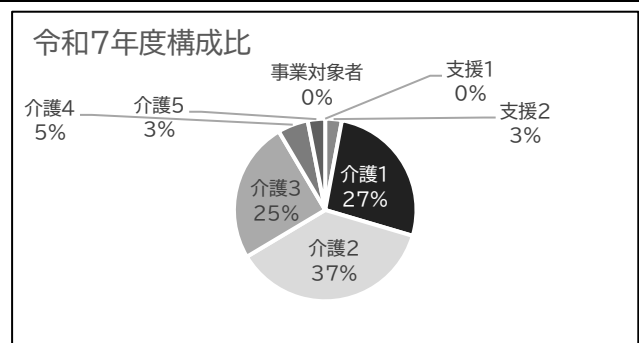
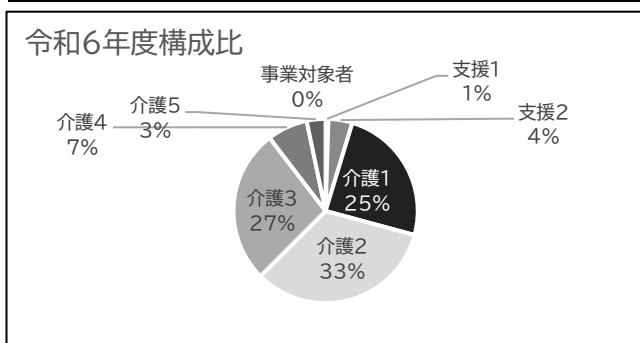


(2) 年間利用状況の推移



(3) 介護度別利用状況

延人数	事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
令和6年度	0	33	255	1,504	2,041	1,665	434	204	6,136
令和7年度	0	0	168	1,521	2,106	1,432	309	176	5,712



3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

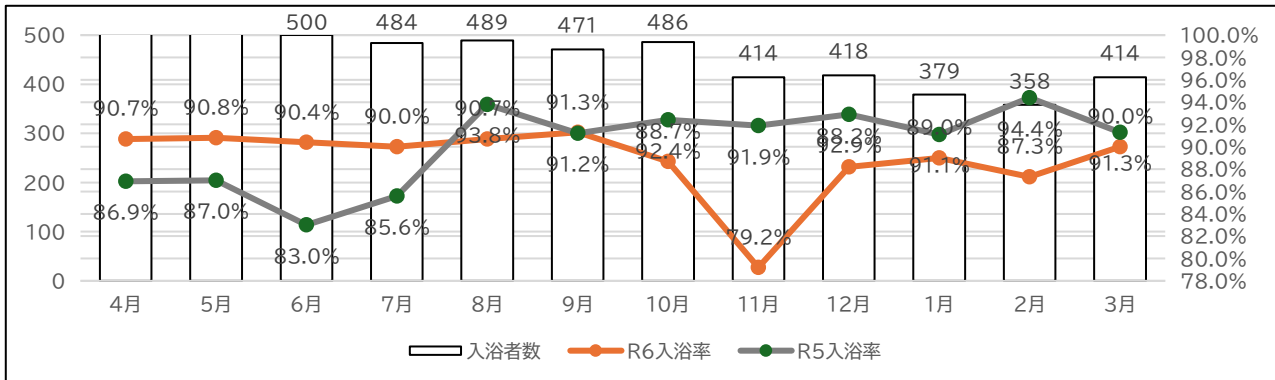
利用者や家族、ケアマネジャー、多職種とサービス担当者会議にて居宅サービスに沿って検討し、利用者様のニーズを明確にした上でサービス提供を行う事が出来た。

(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

利用者が在宅で生活を行っていく為に必要な支援内容を記載し、定期的な見直しを行った。また、利用者の状態変化があった際にはケアマネジャーや家族に随時連絡しつつ見直し及び連携を図った。

(3) 入浴サービス(入浴者数・入浴率報告)

利用者一人ひとりの身体状況を把握し、安心安全を心掛けながら、その方にあった入浴サービスを提供することが出来た。また体調の変化や皮膚トラブルなど、看護職員と情報共有を図ることで早期発見に繋げることが出来た。



(4) 食事サービス

管理栄養士と連携を図り、継続しておやつバイキングや、季節に合わせたイベント食等バラエティーに富んだ食事を提供する事ができ、利用者からも喜びの声を頂いた。嚥下機能が低下した方に対し関連職種で情報共有し、一人ひとりに合わせた食事形態で対応する事も出来た。また、食事前に口腔体操を取り入れ、利用者の嚥下機能を維持できるよう努め、食形態の低下を防ぐことができた。

(5) 排泄介助サービス(定時・随時)

介護職員・作業療法士・看護職員と職種ごとに情報共有・検討した上で利用者一人ひとりのADLを把握・確認、利用者のプライバシーを守り、その人に合った介助サービスに努める事が出来た。利用者の体調や皮膚状態の確認の他、排せつの間隔や状況の把握を徹底し、家族やケアマネジャーへの報告・連携に努めた。

(6) レクリエーション・行事

今年度も感染症対策を施設内で共有を図り、感染のリスク因子を排除しながら、外出・外食行事を行う事が出来た。また、多様な新規レクリエーションを実施し、利用者の参加率の向上や利用者同士の交流の活性化につながり、好評を得た。

【レクリエーション実施状況(回数)】

輪投げ	10	ピンポンでポン	19	風船バレー	13	輪に玉	16
マキマキ	2	射的	14	玉運びゲーム	15	左右に輪っか取り	4
買い物ゲーム	6	二人でクレーンゲーム	4	レンジリレー	6	二人で釣りゲーム	11
見ないで立てて	2	ビー玉ストロー	2	サッカー	1	魚釣り	15
絵合わせカルタ	4	ボーリング	19	しりとり	6	だるま送り	3
連想ゲーム	1	傘で玉入れ	16	揺さぶりお手玉カード	15	ベットのボールバッティング	15
そーっとつれてきて	3	開運！お年玉運び	1	飛ばせ!!ポップコーン	10	投げポン	9
足で穴入れ	3	物干しゲーム	1	新聞紙レーダー	9	こっちおいでお馬さん	1
足で輪投げ	1	頭上バトンリレー	5	スローゴール	7	フライングディスクボーリング	4
落とさないでボールリレー	3	お湯かけ五色分け	3	キャップでピンポン	2	風船追い出しゲーム	1
リボン	1	テーブルホッケー	1	そーっと紐引き競争	6	計 43 種類	290

【行事実施状況(回数)】

桜お花見ドライブ	7	豆まき	1	クリスマス会	2	ケーキバイキング	2
買い物ドライブ	9	敬老会	2	餅つき	1	保育園交流会	1
音楽ボランティア	1	運動会	2	初詣ドライブ	12	計 17 種類	70
甘味ドライブ	10	おやつ作りイベント	3	釜めしイベント	2		
映画観賞会	10	夏祭り	4	ガマの口上	1		

(7) 個別機能訓練(介護)サービス

機能訓練指導員の配置に伴い、個別機能訓練加算を令和8年3月から取得と予定より遅れてしまったが再開することができた。下肢・上肢運動や階段昇降練習、平行棒を利用した歩行練習の他、手先の運動やストレッチを取り入れ、利用者の機能維持・向上に努めた。

機能訓練(名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	54

(8)送迎サービス

利用者を安全に送迎できるよう、デイサービス送迎時に確認した危険個所と市のハザードマップを活用し安心・安全の送迎を実施できた。大きな事故等なく一年間安全な送迎を提供できた。

【送迎状況(回数)】

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え (減算)	438 (7)	429 (7)	416 (11)	463 (11)	464 (14)	472 (13)	519 (12)	478 (12)	481 (15)	456 (14)	444 (15)	478 (28)	5,538 (159)
送り (減算)	434 (11)	423 (13)	413 (13)	458 (16)	453 (25)	463 (21)	509 (21)	465 (22)	489 (25)	446 (24)	438 (23)	473 (23)	5,464 (237)
延回数 (減算)	872 (19)	852 (20)	829 (24)	921 (27)	917 (39)	935 (34)	1,028 (33)	952 (24)	970 (40)	902 (38)	882 (38)	951 (51)	11,011 (387)

【送迎車両走行距離(km)】

車種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キャラバン	1,077	741	844	795	856	784	890	836	877	782	727	793	10,002
ヴォクシー①	757	727	694	753	754	710	781	624	709	644	689	724	8,566
ヴォクシー②	739	695	606	635	814	750	803	891	741	709	702	673	8,758
シエンタ	602	713	623	681	680	676	694	623	595	595	633	444	7,559
タント	843	1,086	1,023	932	932	972	862	886	909	768	844	928	10,985
合計	4,018	3,962	3,790	3,796	4,036	3,892	4,030	3,860	3,831	3,498	3,595	3,562	45,870

(9)看護報告(処置集計報告)

利用者の体調確認、早期異常の発見の為、朝の送迎時体温測定を継続し、来園後のバイタル測定を介護職員と連携して行った。入浴時、全身の皮膚状況確認、必要に応じ軟膏処置、湿布貼付等施行。こまめな手洗い、消毒、うがい、マスク着用を行なった。

処置名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内服薬	171	149	171	163	150	184	207	177	179	160	155	165	2,031
軟膏塗布	296	235	240	267	211	253	261	247	273	252	270	284	3,089
湿布	40	40	46	29	20	28	26	37	40	42	43	49	440
点眼	92	72	88	92	72	90	103	82	90	79	85	111	1,056
爪切り	20	20	21	25	22	8	18	7	14	17	22	23	217
体重測定	56	54	56	55	60	60	63	61	63	59	59	59	705
合計	675	570	622	631	535	623	678	611	659	609	634	691	7,538

(10)事故・ヒヤリハット報告

今年度は歩行時のふらつき、それに伴う転倒の他、利用者様の忘れ物が多く見受けられた。転倒リスクが高い利用者様の対応方法を検討・実施すると共に、忘れ物が無いよう帰りの送迎前に職員間で持参されている杖やハンガーにかかっている上着などが無いが声出し確認を行った。

事故種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・ずり落ち	2	0	1	0	2	0	1	1	0	0	2	0	9
トラブル	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
体調不良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車の物損	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	4
内服薬	0	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	5
備品・物損	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
職員確認ミス	1	2	1	1	4	1	2	1	2	1	1	1	18
苦情	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入浴時の傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	5
合計	3	4	4	1	7	6	4	3	3	4	5	3	47

(11)地域連携・貢献活動(地域交流スペースいこっ茶にて介護予防等の啓発事業)

慢性的な職員不足やインフルエンザの流行もあり企画を見送った。

(12)実習生・ボランティア受入

継続してボランティア団体「こもれびの会」と連絡・調整を行い、月に2回(第2・第4水曜日)活動していただいた。傾聴やお茶出しを行っていただき、職員でまかなえない部分を担っていただいた。利用者の地域交流、社会参加の意識の向上を図ることができた。

今年度は大学より介護等体験実習、専門学校より実習生の受け入れを継続的に実施し、介護職員の指導機会の拡充を図った結果、指導力の向上および職員の意識向上につながった。

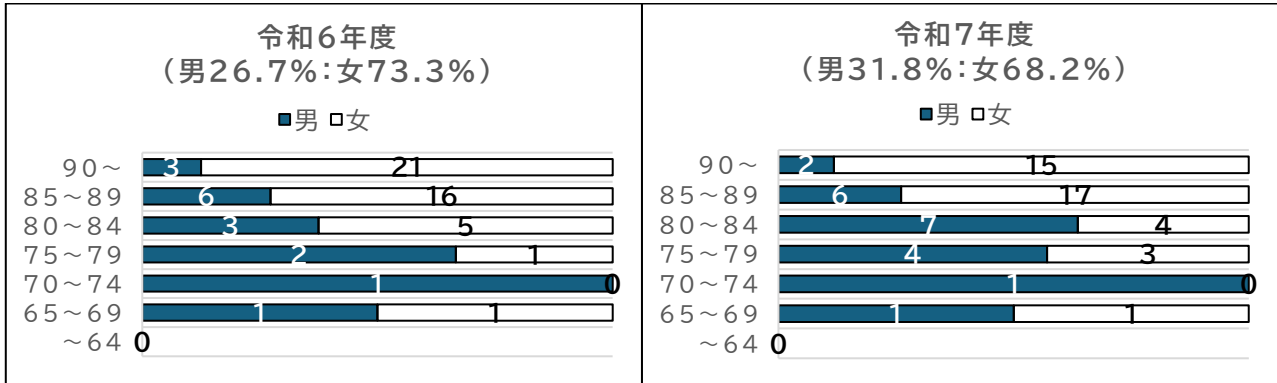
4. 利用者状況

(1) 登録利用者

年度	種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	登録者数	57	55	55	55	60	61	64	65	65	64	65	66	732
	新規利用者	2	2	4	2	5	2	4	1	2	1	3	3	31
	体験利用者	2	3	4	3	5	3	4	1	3	1	3	2	34
	利用終了者	3	2	4	1	1	0	1	0	3	3	3	0	21
R6	登録者数	63	67	67	69	71	68	71	71	68	64	61	60	800
	新規利用者	3	5	0	5	4	2	4	2	2	1	1	1	30
	利用終了者	1	0	2	3	5	1	2	2	7	5	2	5	35

デイサービスをより身近に感じ、介護保険及び福祉サービスの促進を目的に無料で体験利用を実施した。サービスを試してみたい方が一歩踏み出しやすい環境を整えた。体験利用者数の増加や、ケアマネジャーからは「気軽に紹介しやすくなった」との声が寄せられ、関係機関との連携強化につながる効果があった。

(2) 利用者年齢構成



(3) 町内別(市外含む)・中学校区別登録利用者(令和8年3月31日現在)

○町内別(市外含む)

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
藤沢	15	本郷	3	高岡	6	板谷	2
大畑	5	木田余	1	並木	6	真鍋	2
都和	2	田土部	2	永井	4	常名	1
中貫	2	東城寺	2	小山崎	1	小美玉市	1
粟野町	1	西真鍋	1	若松町	1	合計	66
つくば市小田	1	その他	2	大志戸	5		

○中学校区別

地区	一中	二中	三中	四中	五中	六中	都和	新治	市外	合計
登録者数	0	4	0	0	0	0	13	45	4	66

支援センター憩いの里

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

2名体制でスタートしたが、7月の管理者の退職に伴い、主任ケアマネ要件を満たさない暫定管理者1名での運営となった。抱えてきたケースの継続や、近隣事業所との信頼関係を損なわないよう連絡調整を行うとともに、包括支援センターや地域住民からの「憩いの里にお願いしたい」との声に答えるべく新規ケースを獲得し、年間を通して総件数が安定し上昇した1年であった。2月末にケアマネジャーが退職したことにより一時休止とした。

2. 居宅介護サービス計画実施状況

<介護プラン>

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	57	61	59	56	33	33	35	37	37	39	39	0	486
市外	0	0	1	1	1	2	1	1	1	2	2	0	12
計	57	61	60	57	34	35	36	38	38	41	41	0	498

月平均 41.5 件。7月末に1名退職があり、総件数減となった。終了ケースもあるなか月平均 1 件以上新規受け入れを行い、その後 40 件代まで持ち直した。

<介護予防プラン(地域包括支援センター委託)>

包括名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
かんだつ	10	10	11	13	7	7	6	6	6	6	6	0	88
うらら	0	1	2	2	1	1	1	1	2	1	1	0	13

本人や家族からの直接の依頼や地域包括支援センターからの新規相談に積極的に対応することで相談依頼の増加を図ることができた。

<居宅サービス契約者介護度別件数>

介護度 年度	事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
令和 6 年度	0	88	134	404	239	181	57	19	1,122
令和 7 年度	0	46	57	262	122	86	6	10	589

昨年同様に要介護1の利用者が最も多い。また、要支援認定者の依頼も継続的にあり、在宅で生活し続ける為のケアマネジメントニーズが高い事が伺えた。

3. 認定調査

認定調査の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	4	2	7	3	3	3	2	1	2	0	0	0	27

認定調査は、27 件実施した。

4. 研修

月	内容	参加人数
4月	都和地区ふれあい調整会議(都和公民館)	1名
	介護支援専門員 I 更新研修(ZOOM)	1名
5月	介護支援専門員 I 更新研修(ZOOM)	1名
	事業所内『BCP 勉強会』	1名
6月	法人内『高齢者虐待 感染症 BCP』(サポートセンター)	2名
	都和地区ふれあい調整会議(都和公民館)	1名
	介護支援専門員 I 更新研修(ZOOM)	1名
7月	BCP机上訓練 防災シミュレーター、伝言ダイヤルの使い方	1名
9月	法人内『個人情報 法令遵守 家族信託』(サポートセンター)	1名
10月	社会福祉協議会『在宅ケアハラスメント』(ZOOM)	1名
11月	『適切なケアマネジメント手法』動画研修	1名
12月	他事業所共同研修『事例検討会』(居宅華林・居宅シルトピア)	1名
	法人内『80-50 問題 感染症 BCP』(サポートセンター)	1名
2月	土浦ケアマネジャー研究会『ケアマネ業務に役立つ障害福祉制度の理解』四中突く公民館	1名

土浦市在宅介護支援センター憩いの里 土浦市在宅介護支援センター運営委託事業(新治地区担当)

1. 特別業務

状況	件数	状況	件数	状況	件数
(1)台帳作成	18	(2)緊急通報	1	(3)配食サービス	1

今年度、特別業務合計は20件となった。台帳作成、配食サービスに大きな変化は無かった。緊急通報システムに関して、相談要望が寄せられたが、新治地区の地域的な特徴である敷地内離れで独居のケースが多く、家族がいる事で取付け要件に該当しないケースが大半であった。その結果設置には至らなかった。

2. 相談

(方法×続柄集計)

方法	続柄	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
業務時間	電話	0	9	16	17	27	23	24	0	116
	来所	0	0	6	0	6	0	0	0	12
	訪問	75	0	11	5	15	17	2	0	125
時間外	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		75	9	33	22	48	40	26	0	253

民児協会議を通じ、民生委員との関係性を築き同行訪問や新規の1人暮らし高齢者の発見に繋がるケースがあったが、相談件数合計は253件と前年比51件減となった。

(相談区分×続柄集計)

方法	続柄	本人	家族	民生委員 近隣の方	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1)家族の支援		112	19	33	12	48	30	12	0	266
(2)介護保険制度		54	20	12	6	26	21	9	0	148
(3)福祉サービス		77	19	12	21	26	19	8	2	184
(4)保健・医療		14	2	3	0	18	8	3	0	48
(5)経済・住まい		12	8	6	0	10	5	5	0	46
(6)地域の困りごと		23	0	6	6	12	6	0	1	54
(7)その他		78	11	11	10	26	15	5	1	157
(8)二次予防事業		0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9)虐待・権利擁護		0	1	0	1	1	0	0	0	3
(10)ケアマネ支援		0	0	0	0	0	0	0	0	0
(11)認知症関係		8	6	10	6	11	3	3	0	47
合計		378	86	93	62	178	107	45	4	953

前年度と比べ相談件数が全体的に増加傾向にあるが、特に(6)地域の困りごと、が包括、社協を通じ相談件数が増加。前年比24件増となった。理由として多職種スクラムネット会議に挙げた方の対応について社協、包括と連絡を取り合いながら密になって対応していた為と考える。

3. 会議出席回数等

件名	件数(回)
(1)ふれあい調整会議	6
(2)スクラムネット	12
(3)その他	23
合計	41

各定例会について年間を通して参加した。スクラムネット会議やふれあい調整会議では、困難ケースを多職種間で協議することで様々な視点を持ち在支の活動に繋ぐことが出来た。民児協会議では、会議を通して民生委員との関係を深める事や、情報共有及び提供を受け、早期に状況把握の同行訪問が行え、セーフティネットとしての役割を担う事ができた。

4. 動向と考察

1年を振り返り公民館の地域ケアコーディネーター、地域包括支援センターと協働する機会が増加した年であった。他機関と情報共有を密にし、問題や課題を抱えた1人暮らし高齢者の早期発見や問題解決に繋げることが出来た。また、社会福祉協議会主催の「新治地区ひとり暮らし会食会」に参加し、在宅介護支援センターとしての相談支援の啓発に加え、地域資源として当該デイサービスの職員によるリハビリ体操を実施した。これにより社会交流の促進・介護予防の推進・コミュニティ形成の一助になるなど、ソーシャルワーク視点に基づいた実践ができた。今後も関係機関との連携を一層強化し、地域コミュニティ作りへ積極的に参画を図るとともに、民生委員等との連携協働を通じ「在宅介護支援センター憩いの里」が地域の身近な相談窓口として機能出来るよう地域福祉の向上に努めたい。

令和7年度

事業報告

社会福祉法人 祥風会

桜川保育園

理事長 羽鳥 圭一

施設長 宇都野 和司

〒300-0048 土浦市田中三丁目4番5号

T E L 029-821-8341

F A X 029-823-0390

U R L <https://showfukai.com>

E-Ma i l sakuragawa@showfukai.com

【1】運営（運営方針に対する報告）

- (1) 保育理念に基づき、良質かつ適切な教育・保育を提供し、体験活動の充実を通して全ての子どもの健やかな成長を支える環境の確保
令和7年度は、開園から6年目を迎え、これまでの取り組みをさらに発展させる一年となった。地域の皆様の温かいご支援とご協力のもと、「共に手をつなぎ、今を生き生きと過ごし、未来にはばたく力を育てていきます」という保育理念を基盤に、全職員が創意工夫を重ねながら保育の質の向上に努めてきた。
今年度の食育活動では、4歳児が地域の名産である蓮根の栽培に挑戦し、日々の成長を観察する中で植物の生命に対する関心を深めた。また、5歳児はトウモロコシ（爆裂種）の栽培に取り組み、春から秋にかけて世話を継続し、収穫の喜びを体験した。秋の収穫祭では、自ら育てた作物を調理して味わうことで、自然の恵みや食への感謝の気持ちを育む機会となった。
これらの体験活動を体系的に位置付けることで、発達段階に応じた学びの連続性を確保し、子どもたちの健やかな成長を支える保育環境の充実を図った。
- (2) 子どもの意思及び人格を尊重し、一人ひとりの主体性や気づきを大切にされた保育の実践による自己肯定感の育成
日々の保育においては、子どもたちが自ら関わり、気づき、考える過程を大切に、主体性を尊重した関わりを重視した。農作物の栽培においても、日々の変化に心を動かし、収穫を楽しみにする子どもたちの思いに寄り添いながら、一人ひとりの感じ方や育ちを丁寧に受け止める保育を実践した。
また、収穫した作物を自ら調理し味わう体験においては、達成感や満足感を共有し、子ども自身が「できた」「やり遂げた」と実感できる関わりを通して、自己肯定感の育成に努めた。
- (3) 地域及び家庭との結び付きを重視し、地域資源の活用や関係機関との連携、ICTの活用による信頼関係の構築と協働の推進
地域とのつながりを深める活動として、5歳児が全国地域安全運動の一環でイオンモール土浦における防犯イベントに「一日署長」として参加し、地域社会の一員としての意識を育む機会となった。
また、当園が位置する中学校地区の「公民館まつり」に参加し、ピアノ演奏や歌を披露することで、多くの地域住民との交流を図り、表現力や自信の育ちにつながった。
さらに、蓮根栽培など地域資源を活用した保育を通して、ふるさと文化や伝統への理解を深めることができたことや、ICTの活用により、保護者との連絡や情報共有の迅速化・透明性の向上を図り、家庭との連携強化にも努めた。
- (4) 子どもの人権擁護及び虐待防止に向けた体制整備を図るとともに、職員研修の充実と業務効率化による保育の質の向上
ICTの活用や生成AIの導入により、定型的な事務作業の効率化を図り、保育士が子どもと向き合う時間の確保に努め、これにより、子どもの小さな変化にも気づきやすい環境づくりを推進した。
また、職員研修の充実継続して取り組み、保育技術の向上に加え、安全管理や障害理解など多様な分野における専門性の向上を図った。これらの取り組みを通して、子どもの人権擁護および適切な保育環境の確保に努めている。

【2】重点目標に対する成果

- (1) 子どもの日常生活を丁寧にみて情緒の安定を図り、基本的な生活習慣を体得させる
0歳児、1歳児は、日々の生活の中で、子どもの行動や気持ちをじっくり観察し、子どもが気持ちを表現できるように、たくさん話しかけたり、共感を示したりすることにより安心できる環境を整えることで、健やかな発達を促すことができた。
- (2) 子どもの主体性・自主性を尊重し、のびのびと行動させる中で個々の成長・発達を支援する
日常の遊びや学びの場面で、子ども自身に問いかけることで選択肢を与え、自分の意思を表現する機会を作ってきた。
また、スポーツ・フェスティバルや生活発表会では失敗を恐れずに挑戦できる雰囲気をつくることで、自信を持って行動できるようになることを目指した。
- (3) 保護者と保育園が協力して子育ての協働を進める
保育時間も長くなり保護者の子育て支援には十分応えられた。また、写真を通して園での様子を配信することで、子どもたちの日常の細かい部分にまで見ていただくことができ、保育園活動に対する理解にもつながった。
- (4) 地域交流の場をつくり、親しみのある信頼される保育園を目指す
地域交流の一環として実施している「桜川保育園お楽しみ会」では、昨年度同様、近隣の地区長を招き、小学生の兄弟も自由に参加できるようにしたことで、会場はたくさんの来場者で賑わい、園を身近に感じてもらえることに繋がった。
高齢者施設等との交流では、同法人施設である「飛羽ノ園」「憩いの里」の利用者に対し、今年度も「敬老の日」に5歳児から健康長寿の願いを込めたビデオメッセージを送った。そのお礼として、年度末には、「飛羽ノ園」「憩いの里」の利用者の代表が来園し、同じく5歳児のために作った、おもちゃ、メッセージカードを卒園祝いのプレゼントとして手渡してもらうなど、有意義な交流が図れた。
- (5) 持続可能な社会を実現するために、SDGsの目標に向かったの保育園でできる取り組みを行っていく
園庭に野菜や花を育てるスペースを設け、子どもたちが植物の成長を身近に感じながら学べる環境づくりを継続して行った。また、資源の大切さを理解できるよう、廃材を活用した遊びや製作活動にも取り組んだ。
さらに、4歳児が家庭から持参したペットボトルを近隣のスーパーのリサイクルボックスへ定期的に運ぶ活動を行い、リサイクルの仕組みを実体験として学ぶ機会を設けた。職員も必要に応じてプリントに裏紙を使用するなど、園全体で資源を大切にすることを共有した。これらの取り組みを通して、子どもたちが自然とSDGsの理念に触れ、持続可能な社会づくりに関心を持つ力を育むことができた。

【3】事業実績

1. 保育園の運営及び保育活動

(1) 園児数 (単位：人)

月	ゆめ	はな	にじ	ほし	つき	そら	計
4月	9	18	18	19	18	20	102
5月	9	18	18	19	18	20	102
6月	9	18	18	19	18	20	102
7月	9	18	18	19	18	20	102
8月	9	18	18	19	18	20	102
9月	9	18	18	19	18	20	102
10月	9	18	18	19	18	20	102
11月	9	18	18	19	18	20	102
12月	9	18	18	19	18	20	102
1月	9	18	18	19	18	20	102
2月	9	18	18	19	18	20	102
3月	9	18	18	19	18	20	102

(2) 職員数 (単位：人)

月	常勤保育士	非常勤保育士	栄養士	看護師	管理員	調理師	調理補助員	事務員	その他常勤職員	その他非常勤職員	計
4月	16	4	1	1	2	1	2	1	1	3	32
5月	16	6	1	1	2	1	2	1	1	3	34
6月	16	6	1	1	2	1	2	1	1	3	34
7月	16	6	1	1	2	1	2	1	1	3	34
8月	16	6	1	1	2	1	2	1	1	3	34
9月	16	6	1	1	2	1	2	1	1	3	34
10月	16	5	1	1	2	1	2	1	1	3	33
11月	16	5	1	1	2	1	2	1	1	3	33
12月	16	5	1	1	2	1	2	1	1	3	33
1月	16	5	1	1	2	1	2	1	1	3	33
2月	16	5	1	1	2	1	2	1	1	3	33
3月	16	5	1	1	2	1	2	1	1	3	33

(3) 職員構成 (単位：人)

職名	正規職員		嘱託職員		非常勤職員	
	R 7. 4	R 8. 3	R 7. 4	R 8. 3	R 7. 4	R 8. 3
施設長(園長)	0	0	1	1	0	0
主任保育士	1	1	0	0	0	0
副主任保育士	1	1	0	0	0	0
加配保育士	1	1	0	0	1	1
保育士(クラスリーダー)	8	8	0	0	0	0
保育士	5	5	2	2	4	6
保育補助員	0	0	0	0	2	2
英語講師	0	0	0	0	1	1
看護師	1	1	0	0	0	0
栄養士	1	1	0	0	0	0
調理師	1	1	0	0	0	0
調理員	0	0	0	0	2	2
管理員	1	1	0	0	1	1
事務員	0	0	0	0	1	1
計	20	20	3	3	12	14

(4) 延長保育 (単位：人)

月	30分延長	1時間延長	月	30分延長	1時間延長	30分延長合計	1時間延長合計
4月	9	1	10月	15	4	24	5
5月	12	2	11月	18	10	30	12
6月	18	0	12月	20	9	38	9
7月	18	8	1月	10	5	28	13
8月	19	5	2月	10	7	29	12
9月	25	10	3月	9	2	34	12
合計						183	63

※合計については、延べ人数。

(5) 一時預かり保育（単位：人）

月	4時間以下	4時間以上	月	4時間以下	4時間以上	4時間以下 合計	4時間以上 合計
4月	0	0	10月	4	7	4	7
5月	2	1	11月	3	6	5	7
6月	0	3	12月	1	16	1	19
7月	0	2	1月	1	16	1	18
8月	0	2	2月	6	13	6	15
9月	4	2	3月	10	24	14	26
合 計						31	92

※合計については、延べ人数。

(6) 保育内容

当園の「運営方針」、「基本理念」、「保育目標」、「重点目標」に沿って、年間、月間、週間計画及びデイリープログラム（日課）を作成し、職員会議やクラス会議等において、その経過観察を行うとともに必要に応じて補正、調整をしながら、子ども達の実情にあった保育活動を計画的に実践した。

2. 保護者支援

(1) 日常における支援

親切で穏やかな日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助することができた。また、毎月「園だより」や「給食だより」、「ほけんだより」を発行し、行事等の予定や活動の様子を伝えた。

(2) 保護者面談・保育参観

随時要望に応じて面談を実施する体制を整備し、子育ての悩みを共有、様々な提案をし、子育て支援ができるように取り組むことができた。

(3) 外部機関との連携

発達支援や育児不安などにより専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助することができた。また、小学校との連携では、年長児による学校訪問（土浦小学校）を実施し、1年生の授業見学及びゲームと一緒に楽しみながら交流を図ることができた。

(4) 地域支援活動

世代間交流事業や地域交流事業に取り組み、「桜川保育園お楽しみ会」開催時に、近隣の方々を招待するなど、地域全体でよりよい子育て環境を創るよう活動した。

今年度初めて、土浦警察署からの依頼で「全国地域安全運動イベント」や「1 中地区公民館まつり」に5歳児が参加した。

3. 保健衛生

(1) 園児定期健康診断 令和7年5月26日、12月19日（年2回実施）

(2) 園児定期歯科健診 令和7年5月29日、12月 4日（年2回実施）

(3) 職員健康診断 令和7年3月25日（年1回実施）

(4) 職員インフルエンザ予防接種
令和7年12月4日（年1回実施）

(5) 調理員、調乳を行う保育士検便検査
令和6
7年4月14日、5月9日、6月11日、7月17日、8月12日、9月10日、
10月14日、11月14日、12月12日、令和8年1月13日、2月6日、3月6日
（年12回実施）

※令和6年10月から令和7年3月までは、ノロウイルス検査を6回 実施
(6) 感染症拡大防止対策 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、溶連菌感染症、急性胃腸炎等の感染症拡大防止対策として、保育室やトイレの清掃、玩具や手すり、ドアノブなどの消毒の実施と職員及び園児による手洗い、手指消毒の励行

(7) 園児身体測定 令和7年4月22日、5月14日、6月11日、7月9日、8月6日、9月10日、10月7日、
11月12日、12月10日、令和8年1月15日、2月12日、3月4日（年12回実施）

4. 防災安全

月	行 事 予 定
4月	【避難訓練、不審者についての講話】 ・ホールにて、火災避難警報や地震発生時の合図を確認 ・避難訓練DVD視聴 ・消火訓練
5月	【火災】「保育園調乳室からの出火を想定」 ・保育士の誘導で、第1避難所へ避難 ・「お・か・し・も」=押さない、走らない、喋らない、戻らない、の確認 ・消火訓練
6月	【火災、通報訓練】「給食室からの出火を想定」 ・保育士の誘導で、第1避難所へ避難 ・通報担当者が消防署に通報 ・消防署員指導の下、保育士、水消火器にて消火訓練実施
7月	【水害】「梅雨の長雨による桜川の水位上昇により、警戒レベル3を想定」 ・保育士の指示で帰りの用意をしてホールに集合し、一斉メール配信、退園体制を確認 ・消火訓練
8月	【地震】「保育中軽度の地震を想定」 ・保育士の誘導で、机の下などの安全な場所へ避難 【不審者侵入】「放送が不可能な場合を想定」 ・合い言葉の確認とサスマタの使用の実演 ・消火訓練
9月	【火災、通報訓練】「調理室からの出火を想定」 ・保育士の誘導により、送迎用駐車場へ避難し、避難後に煙体験 ・消火訓練
10月	【地震】「保育中に中度の地震を想定」 ・保育士の指示で安全な場所、机の下や、保育室中央に避難 ・消火訓練
11月	【地震】「土曜日の保育中に中程度の地震発生を想定」 ・保育士の誘導で、状況に応じた安全な場所への避難 ・消火訓練
12月	【火災】「乾燥時期に近隣住宅からの出火を想定」 ・通報担当者が消防署に通報 ・保育士の誘導により第1避難所から、第3避難所へ移動 ・消火訓練
1月	【地震】「保育中に最大級の大地震発生を想定」 ・保育士の誘導で机の下などの安全な場所へ避難 ・合図で第1避難所へ移動後、第2避難場所へ移動 ・阪神淡路大震災の教訓の確認 ・消火訓練
2月	【火災】「調理室から漏電による出火を想定」 ・保育士の誘導で、安全な場所に避難 ・コンセントにプラグがきちんと密着しているか確認 ・消火訓練
3月	【地震】「保育中に大規模な地震発生を想定」 ・防災訓練「シェイクアウトつちうら」を実施 ・保育士の誘導で、机の下、ロッカーなどの安全な場所へ移動し、放送を聞いて第1避難所に避難 ・東日本大震災での教訓の確認 ・消火器の場所再確認 ・消火訓練

※避難訓練（年12回）【通報訓練（年2回）と不審者対策（年1回）、消火訓練（年12回）を同時に実施】

5. 給食

給食とおやつは、栄養士の献立に沿って調理士の手作りメニューとし、離乳食は一人ひとりに合わせて進めている。本年度は、1月には全員が完了食になった。

- (1) 1歳児、2歳児 午前おやつ、昼食、午後おやつの提供
- (2) 3歳児～5歳児 昼食、午後おやつ提供
- (3) 延長保育児 補食の提供
- (4) アレルギー児 消化管アレルギー（卵）1名除去食を提供（7月18日解除）
- (5) 食育活動 栄養士が各クラスを巡回し、子どもたちと一緒に食事をする事で食事の様子を知り、食材の話や食べ方を指導

6. 年間行事

月	日	行事名	内容
4月	1日	進級式	・ホールにおいて実施
	4日	入園式	・ホールにおいて実施
5月	16日	保育参観（2歳児～5歳児）	・親子ふれ合い遊び・親子制作
	20日	遠足	・霞ヶ浦総合公園（4、5歳児） ・近隣散歩（0、1、2、3歳児）
6月	6日	食育教室	【4・5歳児行事】 ・食育体験学習（株式会社カスミ）
	28日	桜川保育園お楽しみ会	・輪投げ、魚釣り、くじ引き、ヨーヨーすくい、つかみどり ・かき氷、ポップコーン、焼きそば、10円パン、お囃子
7月	1日	プール開き	・お清め
	8日	七夕おくり	・七夕笹飾り
	17日	ピザ作り	【5歳児行事】 ・ピザ材料の買い出し、野菜の皮むき、生地からのピザ作り、窯焼き体験
8月		プール遊び	
10月	15日	全国地域安全運動イベント参加	・イオンモール土浦で、歌、合奏を披露（5歳児）
	16日	1中地区公民館まつり	・1中地区公民館で歌2曲披露（5歳児）
	18日	スポーツ・フェスティバル2024	・個人走、リレー、遊戯、玉入れ、親子競技
	29日	親子遠足	【5歳児行事】 ・アクアワールド大洗（親子で参加）
	31日	ハロウィン	・仮装パーティー
11月	6日	世界の友達と話そう	・国際理解教室
	21日	「勤労感謝の日」にちなんだ 消防署訪問及び見学	【4、5歳児行事】 ・土浦消防署
	28日	お店屋さんごっこ	・体で感じる、匂い、音、手触りなどテーマにしたお店、アロマ、楽器作り、スライムなど
12月	23日	クリスマス会	・サンタクロースと交流
1月	14日	餅つき	・3、4、5歳児が餅をつき、5歳児がならせ餅を作る
2月	3日	節分豆撒き	・豆まき
	7日	生活発表会	・遊戯、劇、発表、歌、合奏、ピアノ力奏
3月	12日	お別れ会	・発表、プレゼント交換
	19日	卒園式	・卒園児と卒園児の保護者2名、4歳児が参加。式終了後に在園児が園庭にて花道を作り。卒園児を見送り

7. 年間会議

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
職員会議	2	2	2	1	1	3	2	2	2	2	2	2	23
クラス会議	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
食育会議	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
給食会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
保護者会総会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
保護者会役員会	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
個人面談	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	7

8. 職員育成

職員一人ひとりの専門性を高めるため、園内外の研修を計画的に受講するとともに、研修で得た内容をフィードバックしながら年間計画に反映させるためのスキルアップ研修を実施した。

(1) 保育士等キャリアアップ研修

研修名	開催日	受講者
乳児保育	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	3名
幼児教育	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	4名
障害児保育	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	3名
食育・アレルギー対応	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	3名
保健衛生・安全対策	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	3名
保育者支援、子育て支援	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	2名
	11月 1日～ 1月31日 (eラーニング)	1名
マネジメント	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	2名

(2) 保育技術専門研修

テーマ	開催日	受講者
「ボーダークロッシングス」一行き来する、その先へー (オンライン)	4月 7日	1名
あそびのなかから生まれる学び	4月19日	4名
幼児期に大切な運動遊び	6月14日	3名
令和7年度主任保育士研修会	7月18日	1名
架け橋カリキュラムの作成・実現に向けて (オンライン)	7月31日	1名
子どもの命に係わる各種事故を予防する (オンライン)	9月18日	12名
土浦市民間社会福祉協議会見学研修	10月28日	1名
架け橋カリキュラムの取り組みの成果・実践発表・グループ協議	11月11日	1名
子どもと一緒に創るあそび歌のススメ～余白を意識して～	11月22日	3名
令和7年度保育所長研究協議会	1月 7日	1名

(3) 内部研修

テーマ	開催日	受講者
保育現場で重要な接遇マナー	4月 1日	保育士全員
虐待防止法研修・人権擁護のためのセルフチェックリスト	9月19日	保育士全員
保育所や幼稚園における虐待の防止及び発生時の対応に関するガイドライン	11月17日	保育士全員

(4) OJT (On The Job Training)

・随時開催

令和7年度

事業報告

社会福祉法人 祥風会

千鳥ヶ丘保育園

理事長 羽鳥 圭一

施設長 村山 直希

〒300-0824 土浦市千鳥ヶ丘町10番25号

T E L 029-886-3181

F A X 029-886-3182

U R L <https://showfukai.com>

E-Ma i l chidorigaoka@showfukai.com

【1】運営（運営方針に対する報告）

本年度は、民間移管を経て新園舎での保育を開始するという大きな転換期となったが、運営方針に基づき、安定した保育の提供と環境整備に努めた。

- (1) 良質かつ適切な教育・保育の提供については、新園舎の開園により、安全性・快適性に配慮した保育環境を整備し、子どもが安心して過ごせる環境の確保に努めた。また、民間移管に伴う保育内容に大きな変化が生じないよう、引継ぎ保育を丁寧に実施し、子ども一人ひとりの発達や生活リズムを尊重した継続性のある保育を実現した。なお、本来は4月から新園舎での運営開始を予定していたが、建設業者の選定の遅れにより旧園舎での運営開始となった。特に0歳児の受入設備が十分でない状況下でのスタートとなったが、環境整備や保育体制の工夫により、安全確保に最大限配慮しながら受入れを行った。
- (2) 子どもの意思及び人格の尊重については、日々の保育の中で子どもの思いや主体性を大切にしたり関わりを職員間で共有し、常に子どもの立場に立った保育の実践に努めた。特に環境の変化に不安を抱える子どもに対しては、丁寧な声かけや関係づくりを意識し、安心感の醸成に取り組んだ。
- (3) 地域及び家庭との連携については、民間移管に伴い保護者の不安軽減を最優先課題とし、説明会や個別対応を通じて信頼関係の構築に努めた。また、関係機関や小学校との連携についても、従前の関係性を引き継ぎながら、新たな運営体制のもとで円滑な連携を図った。地域との関わりについても、行事や日常的な交流を通して継続的な関係づくりに取り組んだ。加えて、虐待が疑われる事案については、児童相談所及び土浦市と速やかに連携し、保護者への配慮を行いながら適切な支援につなげることができた。
- (4) 子どもの人権擁護及び虐待防止については、責任者を配置し、園内体制の明確化を図るとともに、職員研修を実施し意識向上に努めた。特に民間移管後の新体制においても職員間で共通理解を図り、子どもの最善の利益を最優先とした保育の実践に努めた。また、軽度の障害を有する児童の受入れにあたっては、療育支援センターと連携しながら支援を行ったが、保護者との関わりや支援方針の共有において課題も見られた。

以上のとおり、民間移管及び新園舎開園という大きな環境変化に加え、施設整備の遅れや個別支援を要する事案への対応など、複数の課題がある中での運営となったが、関係機関との連携及び職員の協働により、運営方針に基づいた保育の質の維持・向上に取り組み、概ね安定した園運営を行うことができた。

【2】重点目標に対する成果

- (1) 子どもの情緒の安定及び基本的生活習慣の定着について
民間移管および新園舎への移行に伴う環境変化の中で、子ども一人ひとりの生活リズムや情緒の状態を丁寧に把握し、安心して過ごせる環境づくりに努めた。特に、食事・排泄・午睡等の基本的な生活習慣については、個々の発達に応じた関わりを継続することで、無理のない定着を図ることができた。
- (2) 主体性・自主性の尊重と発達支援について
新園舎の環境を活かし、子どもが自ら遊びを選択し展開できる保育環境の構成に取り組んだ。日々の保育の中で子どもの「やってみよう」という気持ちを大切に、見守りと適切な援助を行うことで、一人ひとりの成長や発達に応じた支援を行うことができた。
- (3) 保護者との協働について
民間移管に伴う不安軽減を図るため、日々の連絡や個別対応を丁寧に、信頼関係の構築に努めた。送迎時の対話や連絡ツールの活用により、子どもの様子を共有し、家庭と連携した保育を進めることができた。
- (4) 地域との交流及び信頼される園づくりについて
新園舎開園に伴い、地域に開かれた保育園としての基盤づくりを進めた。関係機関との連携を維持しつつ、地域とのつながりを意識した運営を行い、徐々に親しみや信頼の醸成を図ることができた。
- (5) SDGs に向けた取組について
日常の保育の中で、物を大切にする気持ちや環境への配慮を育む取り組みを行った。具体的には、資源の再利用や節電・節水への意識づけなど、子どもが身近な生活の中で持続可能な社会について考える機会を設けた。

【3】事業実績

1. 保育園の運営及び保育活動

(1) 園児数 (単位：人)

月	ひよこ	あひる	こぼと	つばめ	ひばり	かもめ	計
4月	2	10	14	14	11	13	64
5月	3	10	14	14	11	13	65
6月	3	10	14	14	11	13	65
7月	4	10	14	13	11	13	65
8月	4	10	14	13	11	13	65
9月	4	10	13	13	11	13	64
10月	4	10	13	13	11	13	64
11月	4	10	13	13	11	13	64
12月	4	10	12	13	11	13	63
1月	4	10	12	13	11	13	63
2月	4	10	12	13	11	13	63
3月	4	10	12	13	11	13	63

(2) 職員数 (単位：人)

月	常勤 保育士	非常勤 保育士	栄養士	看護師	管理員	調理師	調理 補助員	事務員	その他 常勤職員	その他 非常勤職員	計
4月	12	2	1	2	1	2	1	1	1	5	28
5月	12	2	1	2	1	2	1	1	1	5	28
6月	12	2	1	2	1	2	0	1	1	5	27
7月	12	2	1	2	1	2	0	1	1	5	27
8月	12	2	1	2	1	2	1	1	1	5	28
9月	12	2	1	2	1	2	1	1	1	5	28
10月	12	2	1	2	1	2	1	1	1	5	28
11月	12	2	1	2	1	2	1	1	1	5	28
12月	12	2	1	2	0.5	2	0.5	1	1	5	27
1月	12	2	1	2	0.5	2	0.5	1	1	5	27
2月	12	2	1	2	0.5	2	0.5	1	1	5	27
3月	12	2	1	2	0.5	2	0.5	1	1	5	27

※11月末に管理員（正職員）が退職したことにより、調理補助員（パート）一名が管理員を兼務

(3) 職員構成 (単位：人)

職名	正規職員		嘱託職員		非常勤職員	
	R7.4	R8.3	R7.4	R8.3	R7.4	R8.3
施設長（園長）	1	1	0	0	0	0
主任保育士	1	1	0	0	0	0
副主任保育士	0	0	0	0	0	0
保育士	10	10	1	1	2	2
保育補助員	0	0	0	0	3	3
英語講師	0	0	0	0	2	2
看護師	2	2	0	0	0	0
栄養士	1	1	0	0	0	0
調理師	2	2	0	0	0	0
調理員	1	0	0	0	0	0.5
管理員	1	0	0	0	0	0.5
事務員	1	1	0	0	0	0
計	20	18	1	1	7	8

(4) 延長保育 (単位：人)

月	30分延長	1時間延長	月	30分延長	1時間延長	30分延長 合計	1時間延長 合計
4月	8	2	10月	2	1	10	3
5月	11	1	11月	1	1	12	2
6月	12	4	12月	1	0	13	4
7月	3	2	1月	2	1	5	3
8月	5	1	2月	2	2	7	3
9月	2	2	3月	5	3	7	5
合計						54	20

※合計については、延べ人数。

(5) 保育内容

保育計画については、年間・月間・デイリープログラム（日課）を作成し、子どもの発達や実態に応じた計画的な保育の実施に努めた。民間移管に伴う環境の変化を踏まえ、従前の保育内容との継続性を意識しながら、無理のない形で新体制への移行を図った。

各種会議においては、保育の実施状況について定期的に振り返りを行い、子どもの姿やクラスの状況に応じて計画の見直しや調整を行った。特に新園舎への移行期においては、環境の変化による子どもの様子を丁寧に共有し、柔軟な保育内容の修正につなげることができた。

また、年間計画の実効性を高めるため、計画と実践の振り返り（フィードバック）を意識した運用に取り組んだ。職員間での情報共有や意見交換を通して、保育の質の向上に努めた。

さらに、職員のスキルアップを目的とした研修については、園内研修を中心に実施し、計画の立案から振り返りまでの一連の流れについて理解を深めた。一方で、計画と評価の連動や記録の活用方法については、職員間で差が見られるため、今後の継続的な課題として取り組んでいく必要がある。

2. 保護者支援

(1) 日常における支援について

日々の送迎時のやりとりにおいて、親切で穏やかな対応を心掛け、保護者との信頼関係の構築に努めた。民間移管に伴い、保護者の不安軽減を図ることを重要視し、丁寧な説明や個別対応を行うことで、家庭と同じ方向性で子どもの育ちを支える関係づくりを進めた。

また、ICTシステムを活用した連絡帳により日々の子どもの様子を共有するとともに、「園だより」「給食だより」を通じて行事予定や保育内容の発信を行った。さらに、写真配信を積極的に行うことで、保護者が見ることのできない園生活の様子を伝え、安心感の醸成につなげることができた。

(2) 保護者面談・保育参観について

保護者からの要望に応じて随時面談を実施できる体制を整え、子育てに関する悩みや不安の共有に努めた。個々の状況に応じた助言や情報提供を行うことで、保護者支援につなげることができた。

また、保育参観については、子どもの日常の姿を直接見ていただく機会として実施し、保育内容への理解を深めるとともに、園生活への安心感を持っていただくことができた。

(3) 外部機関との連携について

発達面や養育環境において支援が必要と考えられる家庭については、関係機関と連携を図りながら対応を行った。特に、児童相談所や市との連携により、虐待が疑われるケースに対しては早期対応につなげることができた。

また、軽度の発達支援が必要な児童については、療育支援センターと連携しながら支援を進めたが、保護者との支援方針の共有や関係構築において難しさも見られ、今後の課題として整理する必要がある。

(4) 地域支援活動について

地域とのつながりを重視し、未就園児を対象とした交流事業や異年齢交流の機会の創出に取り組んだ。新園舎開園後は、地域に開かれた保育園としての基盤づくりを進めるとともに、地域の子育て家庭が気軽に関われる環境づくりに努めた。

また、小学校や高齢者施設等との交流についても、状況に応じて可能な範囲で実施し、世代間交流を通じた豊かな経験の提供に取り組んだ。

3. 保健衛生

(1) 園児定期健康診断 令和7年6月12日、11月13日（年2回実施）

(2) 園児定期歯科健診 令和7年6月26日、11月27日（年2回実施）

※フッ化物洗口の説明を実施した園児に対して登園時の昼食後1回5mlのフッ化物洗口液を用いて1分間洗口を実施。

(3) 園児尿検査 令和7年5月13日、11月14日

(4) 園児身体測定 令和7年4月16日、5月14日、6月11日、7月9日、8月6日、9月17日、10月9日、11月11日、12月10日、令和8年1月13日、2月12日、3月10日（年12回実施）

(5) 職員健康診断 令和8年3月26日（年1回実施）

(6) 職員インフルエンザ予防接種

令和7年11月6日（年1回実施）

(7) 調理員、調乳を行う保育士検便検査

令和6年4月22日、5月20日、6月17日、7月7日、8月13日、9月9日、10月6日、11月11日、12月10日、令和8年1月13日、2月10日、3月16日（年12回実施）

※令和7年10月から令和8年3月まで、ノロウイルス検査項目を追加（計6回）

(8) 感染症拡大防止対策

各種感染症拡大防止対策として、日常的な衛生管理の徹底に努めた。保育室やトイレの清掃を徹底するとともに、玩具や手すり、ドアノブ等の共用部分の消毒を継続的に実施した。感染症流行時には消毒頻度の見直しを行い、状況に応じた対応に努めた。また、職員及び園児に対して手洗い・手指消毒の励行を行い、発達に応じた手洗い・うがい指導を実施することで、日常的な衛生習慣の定着を図った。その結果、園内での感染拡大防止に努め、安定した園運営につなげることができた。

4. 防災安全

月	行 事 予 定
4月	【避難訓練・講和】 ・ホールにて、火災避難警報や地震発生時の警報を確認 ・「お・か・し・も・ち」押さない・かけない（走らない）・喋らない・戻らない・近寄らないの確認 ・消火訓練
5月	【火災】「給食室より出火を想定」 ・保育士の誘導で、第1避難所へ避難 ・大人数で集合するときも慌てずに避難する ・消火訓練
6月	【地震】「軽度の地震を想定」 ・保育士の誘導で、第1避難所へ避難 ・防災頭巾の被り方を練習する
7月	【台風・暴風】「台風接近に伴い、暴風警報が発令」 ・保育士の指示で安全な場所に避難する ・消火訓練
8月	【地震】「保育中軽度の地震を想定」 ・地震の警報で机の下に避難。地震がおさまったら保育士の誘導で、慌てずに第一避難場所に避難する ・消火訓練
9月	【火災】「調理室からの出火を想定」 ・指示に従って門前駐車場へ落ち着いて避難。 ・消火訓練
10月	【地震→火災】「中度の地震の後、給食室より火災を想定」 ・保育士の指示で安全な場所、机の下などに避難。出火の放送で速やかに第一避難場所へ避難 ・消火訓練
11月	【地震】「中度の地震発生を想定」 ・保育士の誘導で、状況に応じた安全な場所への避難（園庭） ・消火訓練
12月	【火災・防犯訓練】「乾燥時期に近隣からの出火を想定」 ・保育士の誘導により門前砂利駐車場へ避難 ・『いかのおすし』いかない・のらない・大声をだす・すぐにげる・知らせるの確認 ・消火訓練
1月	【新園舎での避難訓練】 ・新園舎での避難方法・警報を確認 ・安全な場所で待機。避難の合図で園庭に避難。 ・消火訓練
2月	【火災】「調理室から出火を想定」 ・保育士の誘導で、安全な場所に避難 ・コンセントにプラグがきちんと密着しているか確認 ・消火訓練
3月	【地震】「保育中に東日本大震災規模の大地震を想定」 ・保育士の誘導で、机の下、ロッカーなどの安全な場所へ移動し、放送を聞いて園庭に避難 ・東日本大震災での教訓の確認 ・消火器の場所再確認 ・消火訓練

※避難訓練（年12回）【防犯訓練（年1回）、消火訓練（年3回）を同時に実施】

※次年度（令和8年度）より通報訓練・消防立ち合い訓練の実施および消火訓練の毎月実施を遂行する

5. 給食

給食及びおやつについては、栄養士が作成した献立に基づき、調理員による手作りを基本として提供し、安全でバランスの取れた食事の提供に努めた。民間移管後においても従前の献立の趣旨を踏まえつつ、新体制のもとで安定した給食提供を行うことができた。

離乳食については、子ども一人ひとりの発達段階や家庭での状況を踏まえ、保護者と連携しながら無理のない形で段階的に進めた。個別対応を徹底することで、安全かつ安心して食事を進めることができた。

提供体制については、1～2歳児に対して午前おやつ・昼食・午後おやつ、3～5歳児に対して昼食・午後おやつを適切に提供した。

アレルギー対応については、保護者・栄養士・医師との連携のもと、除去食及び代替食の提供を行い、誤食防止に向けた確認体制を徹底した。年間を通して重大な事故なく運用することができた。

食育活動については、幼児クラスを中心に野菜の栽培やクッキング活動を実施し、食材への興味関心を高めるとともに、食べることの大切さを学ぶ機会を設けた。また、日常の食事場面においても、食具の使い方やマナーなどを伝え、発達に応じた食習慣の形成に努めた。

以上のとおり、給食提供及び食育活動については、安全性を確保しながら、子どもの発達や実情に応じた取組を行い、概ね適切に実施することができた。今後は、食育活動のさらなる充実とともに、家庭との連携を一層深めていくことが課題である。

6. 年間行事

月	日	行事名	内容
4月	1日	入園式・進級式	・ホールにおいて実施
5月	15日	親子遠足	【5歳児行事】・アクアワールド大洗（親子で参加）
6月	20日		【全園児】 ・親子ふれ合い遊び・親子制作・離乳食の進め方について
7月	1日	プール開き	・お清め
	7日	七夕	・七夕笹飾り
	25日	夕涼み会	【5歳児行事】・手作り出店（射的・魚釣り） 桜川保育園から貸出店（的あて・輪投げ） ・盆踊り
8月		プール遊び	
10月	11日	Sports Day	（雨天のため12日（日）に順延） ・個人走、リレー、遊戯、玉入れ、親子競技
	31日	ハロウィン	・英語講師によるお楽しみ会（クイズ・ダンス）
11月	21日	秋の遠足	・4. 5歳児 霞ヶ浦総合公園 ・0. 1. 2. 3歳児 近隣散歩 ・手作り弁当持参
12月	12日	餅つき	・餅つきを体験する ・鏡餅を作る様子を見学する
	24日	クリスマス会	・由来をパネルシアターで知る ・サンタクロース・トナカイと交流
1月	8日	鏡開き	・鏡開きの体験をする
	15日	新園舎移転	
2月	3日	節分 豆まき	・由來說明、豆まき
	20日	発表会	【3. 4. 5歳児行事】 ・遊戯、劇、歌（English Song含む）
3月	11日	お別れ会	・発表、年長児へプレゼント。
	24日	卒園式	・卒園児と卒園児の保護者2名参加。 式終了後に在園児が園庭にてシャボン玉でお見送り。

7. 年間会議

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
職員会議	1	1	1	1	1	1	2	1	0	0	1	1	11
クラス会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
食育会議	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
給食会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
保護者会総会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保護者会役員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個人面談	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	3

8. 職員育成

職員一人ひとりの専門性を高めるため、園内外の研修を計画的に受講するとともに、研修で得た内容をフィードバックしながら

ら年間計画に反映させるためのスキルアップ研修を実施した。

(1) 保育士等キャリアアップ研修

研修名	開催日	受講者
乳児保育	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	2名
幼児教育	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	2名
	11月 1日～ 1月31日 (eラーニング)	2名
障害児保育	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	1名
	11月 1日～ 1月31日 (eラーニング)	1名
食育・アレルギー対応	県南生涯学習センター (10月1日・22日)	2名
保健衛生・安全対策	11月 1日～ 1月31日 (eラーニング)	1名
	県南生涯学習センター (12月13日・14日)	2名
保育者支援、子育て支援	県南生涯学習センター (10月29日・11月28日)	2名
マネジメント		0名

(2) 保育技術専門研修

テーマ	開催日	受講者
社会人基礎の研修 (オンライン)	5月15日・16日・19日	1名
保幼小連携 計画訪問における授業参観	7月 2日	1名
	9月25日	1名
令和7年度 主任保育士・主幹保育教諭研修会	7月18日	1名
保幼小接続合同研修会	8月 8日	1名
総合母子保健事業研修会	8月20日	2名
令和7年度 保育所長研究協議会	1月 7日	2名

(3) 祥風会研修

テーマ	開催日	受講者
なし		

(4) 内部研修

テーマ	開催日	受講者
普通救命講習会	2月 20日	9名

(5) OJT (On The Job Training)

・随時開催